

未定稿

附録 資料集

用語解説

姫路市総合交通計画策定経緯及び委員名簿

鉄道駅整備方針

代表的な公共交通空白・不便地域

市民アンケート調査結果

用語解説

用語解説

新しい生活様式	長期間にわたって感染拡大を防ぐために、飛沫感染や接触感染、さらには近距離での会話への対策を、日常生活に定着させ、持続させること。
インバウンド	外国人が訪れてくる旅行。
ウォーカブル 推進都市	国土交通省が打ち出している「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を目指し、国と地方で先進事例などの情報共有を行い、ソフト面・ハード面の事業を推進する都市のこと。
環境アセスメント	開発事業の内容を決めるにあたって、そろえが環境にどのような影響を及ぼすかについて、あらかじめ事業者自らが調査・予測・評価を行い、その結果を公表して一般の方々、地方公共団体などから意見を聴き、それを踏まえて環境の保全の観点からよりよい事業計画を作り上げる制度のこと。
幹線道路	地域的あるいは都市内において、骨格的な道路網を形成する道路。通常、広幅員・高規格の道路であることが多い。
キャッシュレス	物理的な現金（紙幣・硬貨）を使用しなくても活動できる状態のことで、電子マネー・デビットカード・モバイルウォレット・クレジットカード等が挙げられる。
グリーンスロー モビリティ	時速 20km 未満で公道を走ることが可能な 4 人乗り以上の電動・低速の小さな公共交通。
クロスセクター効果	地域公共交通を廃止した時に、追加的に必要となる多様な行政部門の分野別代替費用と、運行に対して行政が負担している財政支出を比較することにより把握できる、地域公共交通の多面的な効果のこと。
継続事業	路線バスなどの維持が困難な状況を把握し、地方公共団体が既存の事業やを含めた関係者と協議し、サービス継続のための事業方針を策定し、公募により新たなサービス事業者を選定する事業。

交通結節点	異なる交通手段または同じ交通手段を相互に連絡する乗り換え・乗り継ぎ施設。交通結節点は、移動の一連の動きの中のひとつの重要な要素であり、「つなぐ空間」と「たまる空間」としての役割を有している。交通結節点の具体的な施設としては、鉄道駅、バスターミナル、自由通路や階段、駅前広場やバス交通広場、歩道などがあげられる。
交通手段分担率	全体のトリップに対する、ある交通手段を利用したトリップの割合をその交通手段の分担率という。
国際拠点港湾	国際海上貨物輸送網の拠点となる港湾として港湾法に基づき政令で定めるもので、国際戦略港湾以外の港湾。
国勢調査	日本に住んでいるすべての人及び世帯を対象とする国の最も重要な統計調査で、国内の人口や世帯の実態を明らかにするため、5年毎に行われる調査のこと。
コベネフィット (共通便益)	一つの政策、戦略、又は行動計画の成果から生まれる、複数の分野における複数のベネフィット（便益）のこと。気候変動の緩和策におけるコベネフィット型アプローチに関しては、そのアプローチが環境、エネルギー、及び経済にプラスの影響を及ぼすものである。
コミュニティバス	地域住民の多様なニーズにきめ細かに対応する地域密着型バス。
サイクルアンドバス ライド	「パークアンドライド」参照。
参画と協働	自分たちの地域を住みやすくするため、知恵や力を出し合って、みんなのことはみんなで決めて、さまざまな地域づくりに取り組んでいくこと。
シェアサイクル	複数の自転車貸し出し・返却拠点を設置し、どの拠点でも貸出・返却ができるシステム。
水素ステーション	燃料電池車に水素を供給するための施設。水素を輸送して貯蔵するオフサイト型と、都市ガスを改質して、水素をその場で製造するオンサイト型があり、水素製造装置(オンサイト型の場合)、貯蔵タンク、圧縮装置、注入装置から構成される。

生活交通確保維持改善計画	多様な関係者の連携により、地域公共交通の確保・維持を図るとともに、地域公共交通の改善に向けた取り組みを支援するもの。
代表交通手段	一つのトリップでいくつかの交通手段を乗り換えた場合、その中の主な交通手段を代表交通手段という。主な交通手段の集計上の優先順位は、鉄道、バス、船舶、自動車、原付・バイク、自転車、徒歩の順としている。例えば、自宅から駅まで自転車で移動し、駅から鉄道で勤務先へ行く場合の代表交通手段は「鉄道」となる。
多核連携型都市構造	市域を越える広域的な視点と、市内各地域の特性に応じた都市機能のさらなる集約化と各地域間を結ぶ交通体系の強化（コンパクト・プラス・ネットワーク）の観点を持った、地域資源や地域特性を活用しつつ、都市機能を分担し相互補完することができる都市構造。
端末交通手段	出発駅から鉄道駅、または鉄道駅から目的地までのトリップのことをいい、その利用交通手段を鉄道端末手段という。同様に、バス端末トリップは、出発地からバス停、またはバス停から目的地までのトリップのことを指す。
地域公共交通	都市内や特定地域内を運行する鉄道、バス、タクシー、コミュニティバスなどの総称。
昼間人口	常住人口に通勤や通学者の人口を足し、他の地域に通勤・通学する人口を引いたもの。
デジタルサイネージ	屋外・店頭・公共空間・交通機関などあらゆる場所で、ディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するメディアのこと。
デマンド型乗合タクシー	利用者からの予約を受けて運行する乗合型タクシー。運行方式、運行ダイヤ、発着地の自由度の組合せにより、多様な運行形態が存在する。
都市計画道路	都市計画法に基づき都市計画決定している道路。整備済のものと未整備のものがある。
トランジットモール	都心部の商業地等において、自動車（一般車両）の通行を制限した、歩行者と路面を走行する公共交通機関（バスや路面電車等）による空間。歩行者の安全性向上や都心商業地の魅力向上などを目的とする。

トリップ (トリップエンド)	人がある目的をもって、ある地点からある地点へ移動する単位をトリップという。トリップは、移動の目的が変わることに1つのトリップを数え、例えば、朝、自宅を出て、会社に到着し、夕方に会社を出て自宅に帰った場合は、出勤1トリップ、帰宅1トリップの合計2トリップになる。また、1つのトリップの出発地と到着地をトリップエンド（「発生集中量」参照）という。
燃料電池自動車	燃料電池で水素と酸素の化学反応によって発電した電気エネルギーを使い、モーターを回して走る自動車。
ノーマイカーデー	特定の日にちや曜日を決めて自動車の利用を自粛する取り組み。
パークアンドライド (パークアンド バスライド)	交通混雑緩和のため、自動車を都市郊外の駐車場に駐車し（パーク）、鉄道、バス等の公共交通機関に乗り換え（ライド）、目的地に入るシステム。また、自動車からバスへ乗り換える場合をパークアンドバスライド、自転車から鉄道（バス）へ乗り換える場合をサイクルアンドライド（サイクルアンドバスライド）という。
パーソントリップ調査	パーソントリップ調査（パーソン=人、トリップ=動き）とは、「いつ」「どこから」「どこまで」「どのような人が」「どのような目的で」「どのような交通手段を用いて」動いたかについて調査し、人の1日のすべての動きをとらえるもの。姫路市では、2010年（平成22年）に第5回近畿圏パーソントリップ調査（調査主体：京阪神都市圏交通計画協議会）が実施されている。
バスベイ	バスが停留所に停車することにより発生する渋滞の解消や、安全性の向上を図るために設けるバス停車帯のこと。
バスロケーション システム	GPS等を用いてバスの位置情報を収集し、バス停の表示や携帯電話、パソコンに情報提供するシステム。
発生集中量	ある地域から出発するトリップ数（発生量）と、その地域へ到着するトリップ数（集中量）の合計。発生集中量の場合、発地点と着地点の合計であるため、単位はトリップエンドとなる。
バリアフリー	高齢者・障がい者等が社会生活をしていく上で障壁（バリア）となるものを除去（フリー）すること。物理的、社会的、制度的、心理的な障壁、情報免での障壁を除去するという考え方。

播磨臨海地域道路	神戸市から播磨臨海地域を連絡し、太子町に至る延長約50kmの道路。国道2号バイパスの渋滞解消、広域的防災に資するネットワークの確保とともに、ものづくり拠点である播磨臨海地域の発展に必要な道路として計画されている。
福祉有償運送	NPO等が身体障碍者や要介護者など、一人では公共交通機関を利用することが困難な移動制約者に対して、ドア・ツー・ドアの個別輸送サービスを自家用自動車によって提供するもの。
フレイル	老化に伴う様々な機能の低下により、疾病発症や身体機能障害に対する脆弱性が増す状態「frailty（虚弱）」の日本語訳として日本老年医学会が提唱した用語。適切な介入・支援により、生活機能の維持・向上が可能な状態であり、健康な状態と日常生活でサポートが必要な介護状態の中間を意味する。
歩行者利便増進道路 (ほこみち)	「地域を豊かにする歩行者中心の道路空間の構築」を目指すものであり、歩行者の安全かつ円滑な通行及び利便の増進を図り、快適な生活環境の確保と地域の活力の創造に資する道路のこと。
モータリゼーション	自動車が普及し、人々の生活の中で広範に利用されるようになる現象。
モビリティ	動きやすさ、移動性、機動性。交通分野では、人が社会的活動のために交通（空間的移動）をする能力を指す。一般にモビリティは、個人の身体的能力や交通手段を利用する社会的・経済的能力、交通環境によって左右される。
モビリティマネジメント (MM)	一人ひとりのモビリティ（移動）が、個人的にも社会的にも望ましい方向（過度な自動車利用から公共交通・自転車等を適切に利用する方向）へ自発的に変化することを促す、コミュニケーション施策を中心とした交通政策。
ユニバーサルデザイン	障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方。
ラストワンマイル	最寄りの駅・停留所等と自宅等の目的地を結ぶ移動のこと。
利便増進事業	地方公共団体が中心となって路線ネットワークにとどまらず、料金体系やダイヤの見直しも含めた利用者の利便の増進に資する取り組みを通じて、地域旅客サービスの持続可能な提供の確保を図る事業。

ITS	Intelligent Transport Systems（高度道路交通システム）のこと。道路交通の安全性、輸送効率、快適性の向上等を目的に、最先端の情報通信技術等を用いて、人と道路と車両とを一体のシステムとして構築する新しい道路交通システムの総称。
MaaS	Mobility as a Service の略。出発地から目的地までの移動ニーズに対して最適な移動手段をシームレス（途切れず）に一つのアプリで提供するなど、移動を単なる手段としてではなく、利用者にとっての一元的なサービスとして捉える概念。
PDCA サイクル	Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Act（改善）の四つの頭文字をとったもの。これら四つを主要な要素とする政策のマネジメント・サイクルをつなげていくことで、政策の改善や次の政策形成に活かしていく。

姫路市総合交通計画策定経緯及び委員名簿

策定経緯

姫路市地域公共交通会議 委員名簿

姫路市総合交通計画 策定経緯

	開催日	議事
第17回 姫路市地域公共交通会議	2019年10月9日（水）	・事業プログラムの進捗状況 ・市民アンケート調査の概要
第18回 姫路市地域公共交通会議	2020年2月12日（水）	・市民アンケート調査結果 ・現状と課題の整理結果
第19回 姫路市地域公共交通会議	2020年8月11日（火）	・基本理念、基本方針等の検討、策定 ・交通施策・事業内容等の検討
第20回 姫路市地域公共交通会議	2021年2月10日（水）	・計画原案の検討、審議
パブリック・コメントの募集 [2021年3月24日（水）～2021年4月23日（金）]		
第21回 姫路市地域公共交通会議	2021年5月25日（火）	・市民意見（パブリック・コメント）募集 結果と修正箇所 ・計画案の審議

姫路市地域公共交通会議 委員名簿

区分	役職	氏名	機関・団体名 役職
学識経験者			
	会長	正司 健一	国立大学法人 神戸大学 名誉教授
各種団体			
委員	浅田 敦之	姫路商工会議所	理事・事務局長
	大野 幸一	姫路市連合自治会	会長
	岩田 稔恵	姫路市連合婦人会	会長
	難波 功	姫路市老人クラブ連合会	会長
	(奥西 良行)	(第 17 回、第 18 回、第 19 回)	
市議会			
委員	常盤 真功	姫路市議会 建設委員会	委員長
	(妻鹿 幸二)	(第 17 回、第 18 回)	
運送事業者・組織団体等			
委員	早川 泰正	西日本旅客鉄道株式会社	近畿統括本部企画課 課長
	若松 哲郎	山陽電気鉄道株式会社 鉄道事業本部安全推進・企画部 部長	
	(井上 俊行)	(第 17 回、第 18 回)	
	竹内 宏	神姫バス株式会社バス事業部 地域公共交通担当課長	
	河合 利宜	一般社団法人兵庫県タクシー協会姫路支部	支部長
	(河内 泰敏)	(第 17 回、第 18 回)	

() は前任者

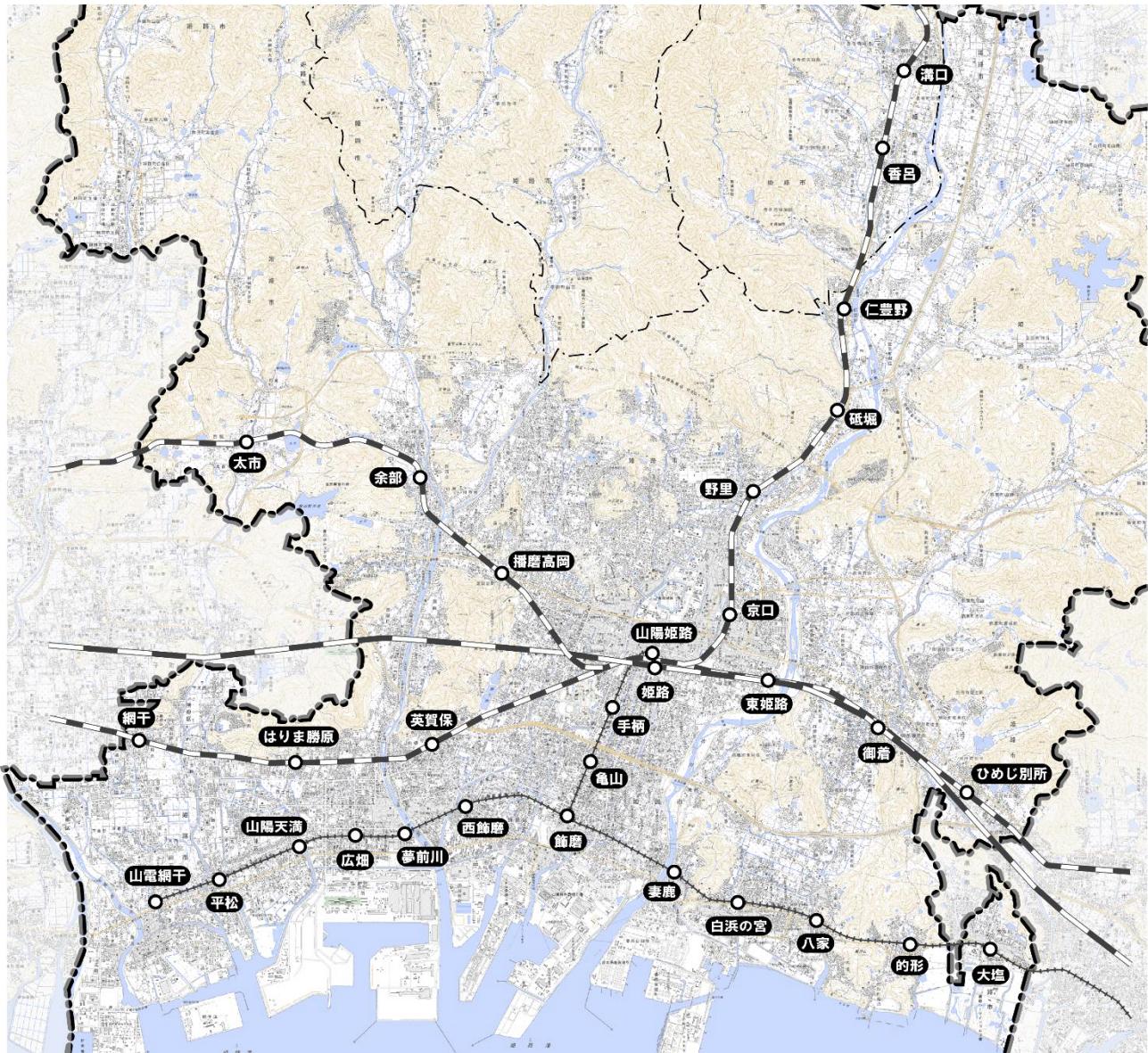
区分	役職	氏名	機関・団体名 役職
関係行政機関			
委員	大塚 賢太	国土交通省近畿地方整備局建政部都市整備課 課長	
	(崎谷 唯比古)	(第 19 回、第 20 回)	
	(鈴木 豪)	(第 17 回、第 18 回)	
	竹田 佳宏	国土交通省近畿地方整備局姫路河川国道事務所 副所長	
	(石鍋 一文)	(第 19 回、第 20 回)	
	(尾下 嘉春)	(第 17 回、第 18 回)	
	片田 一真	国土交通省近畿運輸局交通政策部交通企画課 課長	
	(原 辰幸)	(第 17 回、第 18 回)	
	西尾 道太	国土交通省神戸運輸監理部総務企画部企画課 課長	
	(土谷 穂)	(第 17 回、第 18 回、第 19 回、第 20 回)	
	川又 淑史	国土交通省神戸運輸監理部総務企画部 企画調整官	
	(喜多 信夫)	(第 17 回、第 18 回)	
	鴨川 義宣	兵庫県県土整備部県土企画局交通政策課 課長	
	(作田 良文)	(第 19 回、第 20 回)	
	(藤原 信一)	(第 17 回、第 18 回)	
	小谷 和弘	兵庫県中播磨県民センター姫路土木事務所 所長	
	(松田 智)	(第 17 回、第 18 回)	
	眞野 栄治	兵庫県姫路警察署 交通第一課 課長	
	(宅見 晋一)	(第 17 回、第 18 回)	
	中谷 隆友己	兵庫県飾磨警察署 交通第一課 課長	
	(山田 賢一)	(第 17 回、第 18 回)	
	永井 宏樹	兵庫県網干警察署 交通課 課長	
	(山口 正樹)	(第 17 回、第 18 回、第 19 回、第 20 回)	
	佐々木 康武	姫路市建設局 局長	
	(中川 吉郎)	(第 17 回、第 18 回、第 19 回、第 20 回)	
	三輪 徹	姫路市都市局 局長	

() は前任者

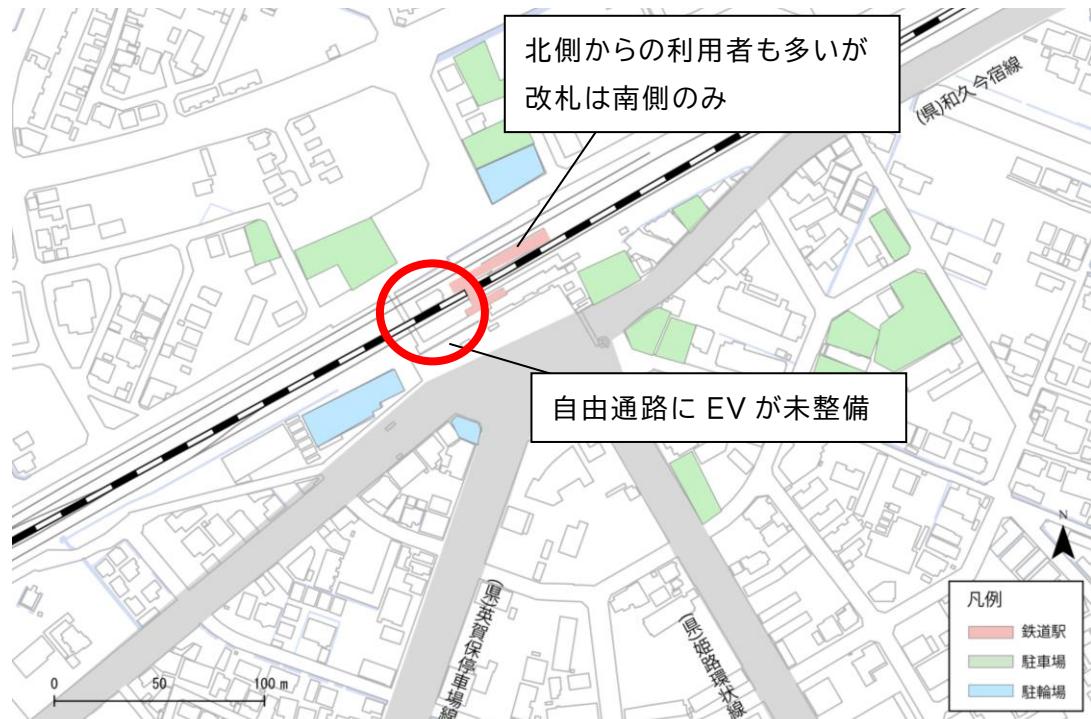
鉄道駅整備方針

御着駅
英賀保駅
網干駅
京口駅
砥堀駅
仁豊野駅
播磨高岡駅
余部駅
太市駅
手柄駅
亀山駅
飾磨駅
八家駅
的形駅
大塩駅
西飾磨駅
夢前川駅
広畠駅
山陽天満駅
平松駅

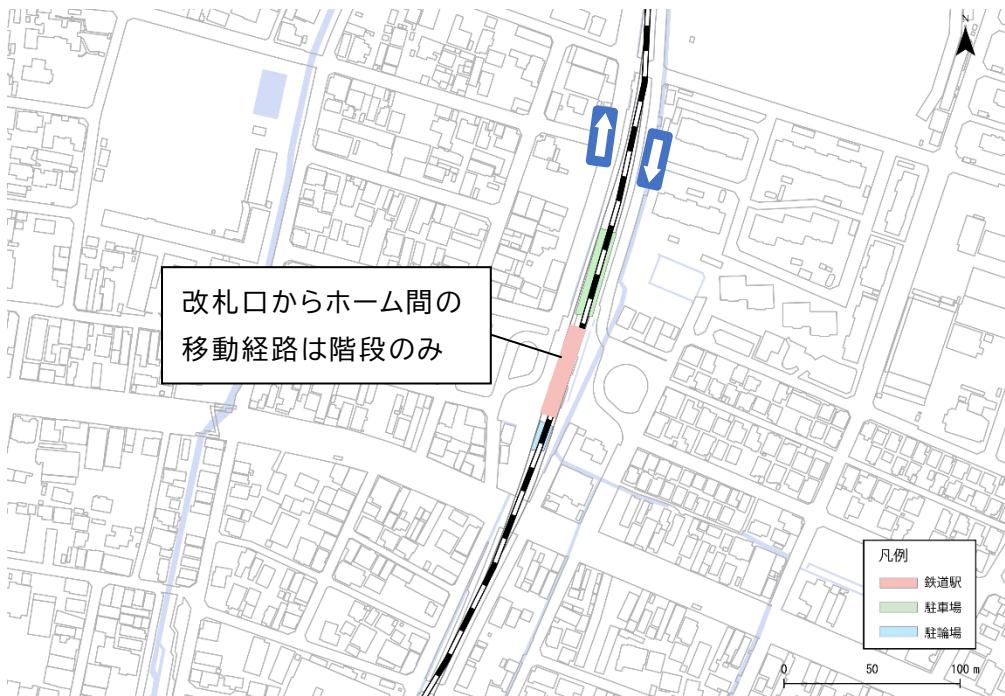
■姫路市内の鉄道駅



駅名		JR山陽本線 御着駅			
総合計画での位置づけ		地域交流拠点			
備えるべき機能		駅舎の近代化	アクセス性向上	バスとの結節	送迎車との結節
		○	○	○	○
現状	駅舎	地上駅(有人)			
	ホーム間の移動	二線橋(階段、エレベーター)			
	駅前広場	未整備			
	駐車・駐輪場	駐車場:約 80 台(民営・有料) 駐輪場:約 650 台(公営・有料)、約 300 台(民営・有料)			
	バス・タクシー	バスバース:なし タクシーバース:あり			
	周辺主要施設	姫路市東保健福祉サービスセンター、市立図書館(東分館)、 姫路工業団地、姫路信用金庫、みなど銀行、JA兵庫西			
現状分析と課題	日平均乗車人員	2019 年度:2,900 人／日 (2009 年度比+11%)			
	アクセス性	・改札口は北側であるため、南側から利用する際、斜めに交差した踏切もしくは(国)312号のアンダーパスを通る必要があり、大きな迂回と経路の安全・安心に課題がある。 ・周辺道路の幅員が狭隘で歩道未整備区間が多い。			
	その他	—			
	<p>アクセス道路が狭い</p> <p>南側からのアクセス性が低い</p> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄道駅 駐車場 駐輪場 <p>0 50 100 m</p>				
整備方針		<ul style="list-style-type: none"> 駅西踏切の改良 南側アクセス強化 駅前広場・アクセス道路の強化 			

駅名		JR山陽本線 英賀保駅			
総合計画での位置づけ		地域交流拠点			
備えるべき機能		駅舎の近代化	アクセス性向上	バスとの結節	送迎車との結節
		○	○	整備済	整備済
現状	駅舎	地上駅(有人)			
	ホーム間の移動	こ線橋(階段、エレベーター)			
	駅前広場	整備済(北側・南側)			
	駐車・駐輪場	駐車場:約 200 台(民営・有料) 駐輪場:約 1,400 台(公営・有料)、約 120 台(民営・有料)			
	バス・タクシー	バスバース:あり タクシーバース:あり			
	周辺主要施設	入江病院、英賀保駅前郵便局、播州信用金庫			
現状と課題分析	日平均乗車人員	2019 年度:4,623 人／日 (2009 年度比+17%)			
	アクセス性	・南側からのアクセス性は良好であるが、朝夕の通勤時間帯においては渋滞が慢性化している。 ・北側からの利用に際しても一定のアクセス性は確保されているが、改札口が南側にあるため、利便性は南側に比べ劣る。			
	その他	・バリアフリー重点整備地区に位置付けられており、駅構内にはエレベーターが設置されているが、駅構外の自由通路は階段・スロープのみである。			
	 <p>北側からの利用者も多いが 改札は南側のみ</p> <p>自由通路に EV が未整備</p> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄道駅 駐車場 駐輪場 				
整備方針		<ul style="list-style-type: none"> ・自由通路の再整備 ・北改札口の新設 			

駅名		JR山陽本線 網干駅			
総合計画での位置づけ		地域交流拠点			
備えるべき機能	駅舎の近代化		アクセス性向上	バスとの結節	送迎車との結節
	整備済	○	整備済	整備済	整備済
現状	駅舎	橋上駅(有人)			
	ホーム間の移動	橋上駅(階段、エレベーター)			
	駅前広場	整備済(南側)			
	駐車・駐輪場	駐車場:約 730 台(民営・有料) 駐輪場:約 150 台(民営・有料)			
	バス・タクシー	バスバース:あり タクシーバース:あり			
	周辺主要施設	網干駅前交番、兵庫信用金庫			
現状と課題分析	日平均乗車人員	2019 年度:7,759 人／日 (2009 年度比+2%)			
	アクセス性	<ul style="list-style-type: none"> 両側歩道を備えた(都)網干駅前線が(県)太子御津線まで完成しているため、南側からのアクセスは比較的良好である。 北側のアクセス道路となる(県)和久今宿線の交通量は約 8,000 台/日と多いが、歩道の整備状況は十分でない。 北側は駅前広場等の送迎用スペースがない。 			
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 橋上駅であるため鉄道による地域の分断は最小限に抑えられている。 駅及び周辺は交通バリアフリー重点地区に指定されており、バリアフリー化は完了している。 			
整備方針		<ul style="list-style-type: none"> 自由通路の再整備 北改札口の新設 			

駅名		JR播但線 京口駅			
総合計画での位置づけ		-			
備えるべき機能	駅舎の近代化		アクセス性向上		バスとの結節
	○	○	-	送迎車との結節	整備済
現状	駅舎	高架駅(無人)			
	ホーム間の移動	階段			
	駅前広場	整備済			
	駐車・駐輪場	駐車場:約40台(民営・有料) 駐輪場:約180台(公設・無料)			
	バス・タクシー	バスバース:なし タクシーバース:なし			
	周辺主要施設	姫路商工会議所、市立図書館(東光分館)、西兵庫信用金庫、東光児童センター			
課題	日平均乗車人員	2019年度:1,122人/日 (2009年度比+22%)			
	アクセス性	・駅の東西にロータリーが整備され、自動車による送迎は行きやすい。			
	その他	・広域的な利用が見込まれる県立はりま姫路総合医療センター(仮称)とアクリエひめじの最寄駅の一つ。(※姫路駅、東姫路駅と同程度) ・改札～ホーム間の移動経路は階段のみ。			
現状分析 と課題		 <p>改札口からホーム間の 移動経路は階段のみ</p> <p>凡例 ■ 鉄道駅 ■ 駐車場 ■ 駐輪場</p>			
整備方針		・構内バリアフリー化			

駅名		JR播但線 砥堀駅			
総合計画での位置づけ		-			
備えるべき機能	駅舎の近代化		アクセス性向上	バスとの結節	送迎車との結節
	整備済	○	-	-	○
現状	駅舎	地上駅(無人)			
	ホーム間の移動	構外踏切			
	駅前広場	未整備			
	駐車・駐輪場	駐車場:約 50 台(民営・有料) 駐輪場:約 100 台(公設・無料)			
	バス・タクシー	バスバース:なし タクシーバース:なし			
	周辺主要施設	姫路砥堀郵便局			
現状と課題分析	日平均乗車人員	2019 年度:716 人／日 (2009 年度比 +29 %)			
	アクセス性	<ul style="list-style-type: none"> 駐輪場が不足しており、自転車があふれている。 アクセス道路である(市)砥堀 30 号線では自歩道や自転車通行帯が未整備となっている。 送迎スペースが無く、周辺の道路上で送迎車両の停車が行われている。 			
	その他	-			
	<p>自歩道、自転車通行帯が未整備</p> <p>自動車送迎スペースが少ない</p> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄道駅 駐車場 駐輪場 <p>0 50 100 m</p>				
整備方針		<ul style="list-style-type: none"> 駐輪場の増設 ロータリーの設置 			

駅名		JR播但線 仁豊野駅			
総合計画での位置づけ		-			
備えるべき機能	駅舎の近代化		アクセス性向上	バスとの結節	送迎車との結節
	○	○	-	-	○
現状	駅舎	地上駅(有人)			
	ホーム間の移動	こ線橋(階段)			
	駅前広場	未整備			
	駐車・駐輪場	駐車場:約 95 台(民営・有料) 駐輪場:約 130 台(公設・無料)、約 200 台(民営・有料)			
	バス・タクシー	バスバース:なし タクシーバース:あり			
	周辺主要施設	仁豊野交番、仁豊野郵便局、聖マリア病院			
現状分析と課題	日平均乗車人員	2019 年度:1,057 人／日 (2009 年度比+3%)			
	アクセス性	・駅舎東側に空地があるが、ロータリーは未整備である。 ・周辺道路の幅員が狭隘で歩道未整備区間が多い。 ・西側からのアクセス性が低い			
	その他	-			
					
整備方針		・構内バリアフリー化(代替案として西側改札口の整備) ・ロータリーの設置、アクセス道路の強化			

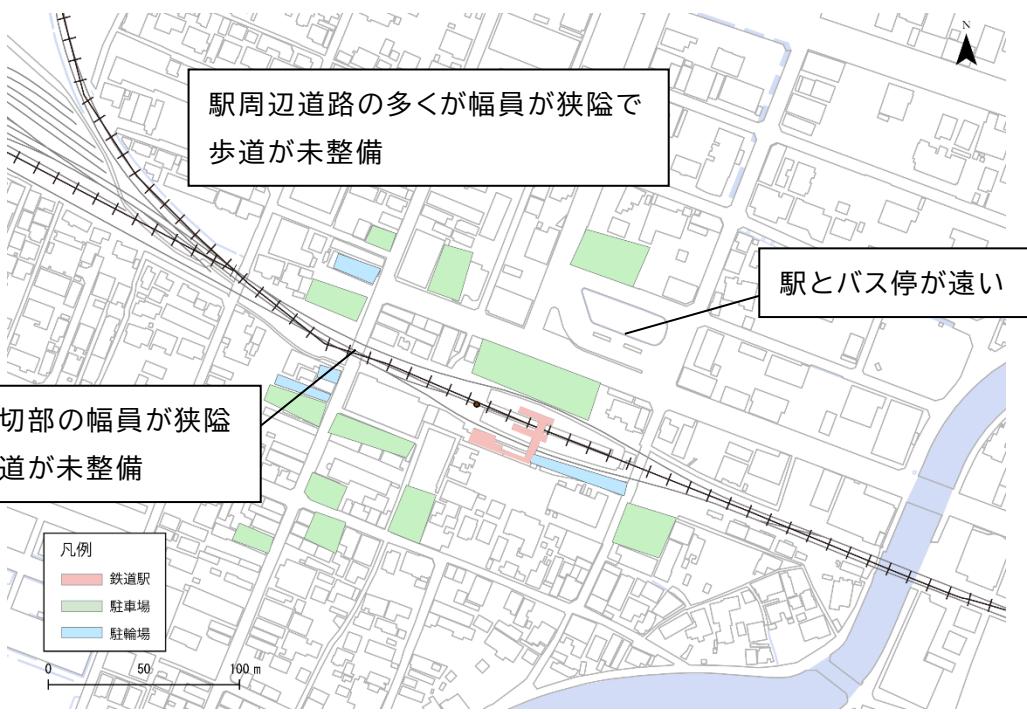
駅名		JR姫新線 播磨高岡駅			
総合計画での位置づけ		-			
備えるべき機能	駅舎の近代化		アクセス性向上	バスとの結節	送迎車との結節
	○	-	-	-	整備済
現状	駅舎	地上駅(無人)			
	ホーム間の移動	こ線橋(階段)			
	駅前広場	整備済(北側)			
	駐車・駐輪場	駐車場:約80台(民営・有料) 駐輪場:約450台(公設・無料)			
	バス・タクシー	バスバース:なし タクシーバース:なし			
	周辺主要施設	高岡サービスセンター、高岡郵便局、JA兵庫西、姫路市医師会			
現状と課題分析	日平均乗車人員	2019年度:1,731人/日 (2009年度比+103%)			
	アクセス性	<ul style="list-style-type: none"> 南北に改札口があり、南側にはスロープも設置されている。 北側、南側に駐輪場が整備されている。 北側にはロータリーが整備されており、自動車送迎によるアクセス性は良好である。 南北ともにアクセス道路に歩道が整備されていない。 			
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ホーム間の移動はこ線橋となっているがエレベーターが設置されていないため、車いす等では、方面に応じた改札口から入場する必要がある。 			
	<p>歩道が未整備</p> <p>駅構内に EV が未整備</p> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄道駅 駐車場 駐輪場 				
整備方針		・歩行者安全対策整備			

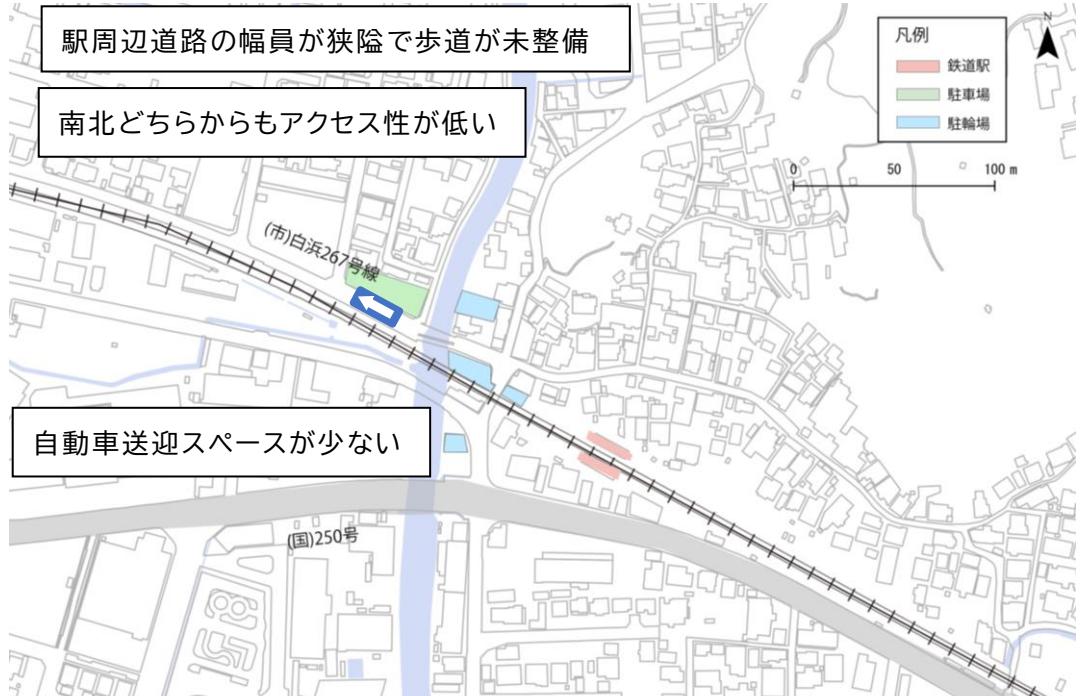
駅名		JR姫新線 余部駅			
総合計画での位置づけ		地域交流拠点			
備えるべき機能		駅舎の近代化	アクセス性向上	バスとの結節	送迎車との結節
○		○		整備済	整備済
現状	駅舎	地上駅(有人)			
	ホーム間の移動	構内踏切			
	駅前広場	整備済(東側)			
	駐車・駐輪場	駐車場:約 280 台(民営・有料) 駐輪場:約 880 台(公設・無料)			
	バス・タクシー	バスバース:なし タクシーバース:あり			
	周辺主要施設	県立飾西高校、酒井病院、但陽信用金庫			
現状と課題分析	日平均乗車人員	2019 年度:2,228 人／日 (2009 年度比+33%)			
	アクセス性	<ul style="list-style-type: none"> ・西側駐輪場の容量が不足しており、自転車があふれている。 ・西側改札スロープの勾配がバリアフリー基準を満たしていない。 ・駅西側は、東西道路が狭隘となっている。 ・(県)姫路新宮線の交通量が多いが、余部駅前交差点に右折レンががない。 			
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・西側改札口には券売機が無い。 			
	<p>右折レンが未整備</p> <p>駐輪場が不足</p> <p>周辺道路が狭い</p> <p>西側からの利用者も多いが 券売機等が未設置</p> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 鉄道駅 ■ 駐車場 ■ 駐輪場 <p>0 50 100 m</p>				
整備方針		<ul style="list-style-type: none"> ・駅西駐輪場の増設 ・西側改札口のスロープ等改良 			

駅名	JR姫新線 太市駅			
総合計画での位置づけ	-			
備えるべき機能	駅舎の近代化	アクセス性向上	バスとの結節	送迎車との結節
	事業中	整備済	-	事業中
現状	駅舎	地上駅(無人)		
	ホーム間の移動	構内踏切		
	駅前広場	未整備(※事業中)		
	駐車・駐輪場	駐車場:約 110 台(民営・有料) 駐輪場:約 500 台(公設・無料)		
	バス・タクシー	バスバース:なし タクシーバース:なし		
	周辺主要施設	太市郵便局		
課題	日平均乗車人員	2019 年度:398 人／日 (2009 年度比+8%)		
	アクセス性	<ul style="list-style-type: none"> 駅舎北側に空地があるが、ロータリーは未整備である。 自動車、自転車の利用が比較的多いが、駅北側の(県)石倉太子線には、自歩道、自転車通行帯等が未整備となっている。 駅が県道の屈曲部に接続している。 駅の改札口は北側のみであり、南側からは駅西部の踏切を通行してアクセスする必要がある。 		
	その他	<ul style="list-style-type: none"> JR・民間企業・地元自治会との連携により、駅舎に隣接して新築される民間企業社屋の一部を待合スペース等の公共空間として提供されるなど、固有の取組みが進められている。 		
現状分析				
	整備方針	<ul style="list-style-type: none"> 駅前広場の整備(※事業中) 駅舎の改築(※事業中) 		

駅名	山陽電鉄本線 龜山駅					
総合計画での位置づけ	-					
備えるべき機能	駅舎の近代化	アクセス性向上	バスとの結節	送迎車との結節		
	○	○	-	○		
現状	駅舎	地上駅(有人)				
	ホーム間の移動	地下通路(階段)				
	駅前広場	未整備				
	駐車・駐輪場	駐車場:約 104 台(民営・有料) 駐輪場:約 70 台(公設・無料)、放置自転車:約 170 台				
	バス・タクシー	バスバース:なし タクシーバース:なし				
	周辺主要施設	姫路愛和病院				
現状と課題分析	日平均乗車人員	2019 年度:1,365 人／日 (2009 年度比+33%)				
	アクセス性	・西側からのアクセス性が低い。 ・駐輪場が不足しており、道路上に自転車が放置されている。 ・周辺道路の幅員が狭隘で歩道未整備区間が多い。 ・送迎スペースが無く、周辺の道路上で送迎車両の停車が行われている。				
	その他	・改札～ホーム間、ホーム間の移動経路が階段のみ。				
整備方針	<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場の整備 ・構内バリアフリー化(代替案として西側改札口の整備) ・ロータリーの設置、アクセス道路の強化 					

駅名	山陽電鉄本線 手柄駅					
総合計画での位置づけ	-					
備えるべき機能	駅舎の近代化	アクセス性向上	バスとの結節	送迎車との結節		
	○	○	-	○		
現状	駅舎	地上駅(無人)				
	ホーム間の移動	構内踏切				
	駅前広場	未整備				
	駐車・駐輪場	駐車場:約 150 台(民営) 駐輪場:約 120 台(公設・無料)				
	バス・タクシー	バスバース:なし タクシーバース:なし				
	周辺主要施設	姫路市中央卸売市場、手柄交番、手柄郵便局、姫路市役所				
現状と課題分析	日平均乗車人員	2019 年度:1,112 人／日 (2009 年度比+35%)				
	アクセス性	<ul style="list-style-type: none"> 周辺の歩道幅員が狭く、不連続部がある。 送迎スペースが無く、周辺の道路上で送迎車両の停車が行われている。 改札口が東側であるため、西側のアクセスは踏切を横断する必要がある。 				
	その他	・姫路市中央卸売市場は令和 5 年に移転予定。				
整備方針	<ul style="list-style-type: none"> 歩道拡幅(踏切部を含む) 西側アクセス強化(西側改札口の整備検討を含む) ロータリーの設置 					

駅名	山陽電鉄本線 飾磨駅					
総合計画での位置づけ	地域交流拠点					
備えるべき機能	駅舎の近代化	アクセス性向上	バスとの結節	送迎車との結節		
	整備済	事業中	事業中	事業中		
現状	駅舎	地上駅(有人)				
	ホーム間の移動	二線橋(階段、エレベーター)				
	駅前広場	整備済(北側)				
	駐車・駐輪場	駐車場:約 140 台(民営) 駐輪場:約 330 台(民営・有料)				
	バス・タクシー	バスバース:あり タクシーバース:あり				
	周辺主要施設	飾磨支所、市立図書館(飾磨分館)、神野病院、県立飾磨工業高校、中谷病院、飾磨市民センター、姫路市南保健センター				
現状と課題分析	日平均乗車人員	2019 年度:4,849 人／日 (2009 年度比+13%)				
	アクセス性	<ul style="list-style-type: none"> 駅に近接する飾磨東踏切、飾磨踏切は踏切道改良促進法に基づく改良すべき踏切道の指定を受けている。(平成 29 年 1 月) 駅北側の駅前広場には路線バス・タクシー乗り場があるが、改札口は南側のみで駅東西の踏切を横断する必要があり、乗り継ぎ利便性が低い。(北側からのアクセス性が低い) 駅南側道路の幅員が狭隘で歩道未整備区間が多い。 				
	その他	—				
	 <p>駅周辺道路の多くが幅員が狭隘で歩道が未整備</p> <p>駅とバス停が遠い</p> <p>踏切部の幅員が狭隘 歩道が未整備</p> <p>凡例 ■ 鉄道駅 ■ 駐車場 ■ 駐輪場</p> <p>0 50 100 m</p>					
整備方針	・北改札口の設置					

駅名		山陽電鉄本線 八家駅			
総合計画での位置づけ		-			
備えるべき機能		駅舎の近代化	アクセス性向上	バスとの結節	送迎車との結節
		○	○	-	○
現状	駅舎	地上駅(無人)			
	ホーム間の移動	構内踏切			
	駅前広場	未整備			
	駐車・駐輪場	駐車場:約 14 台(民営) 駐輪場:約 140 台(公設・無料)、約 85 台(民営・有料)			
	バス・タクシー	バスバース:なし タクシーバース:なし			
	周辺主要施設	八家郵便局			
現状と課題分析	日平均乗車人員	2019 年度:1,497 人／日 (2009 年度比+10%)			
	アクセス性	<ul style="list-style-type: none"> 周辺道路の幅員が狭隘で歩道未整備区間が多い。 駅北側の(市)白浜267号は、西行の一方通行道路となっており、駅北西部からの自動車アクセスは迂回が必要となっている。 送迎スペースが無く、周辺の道路上で送迎車両の停車が行われている。 			
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 近接する八家川は県による改修計画がある。 			
	 <p>駅周辺道路の幅員が狭隘で歩道が未整備 南北どちらからもアクセス性が低い 自動車送迎スペースが少ない</p>				
整備方針		<ul style="list-style-type: none"> 北側アクセス強化(北側改札口設置の可能性検討) ロータリーの整備 			

駅名	山陽電鉄本線 的形駅					
総合計画での位置づけ	-					
備えるべき機能	駅舎の近代化	アクセス性向上	バスとの結節	送迎車との結節		
	○	○	-	○		
現状	駅舎	地上駅(無人)				
	ホーム間の移動	二線橋(階段)				
	駅前広場	未整備				
	駐車・駐輪場	駐車場:なし 駐輪場:約 500 台(公設・無料)				
	バス・タクシー	バスバース:なし タクシーバース:なし				
	周辺主要施設	消防署(大的出張所)、的形郵便局、的形公民館				
現状と課題分析	日平均乗車人員	2019 年度:1,046 人／日 (2009 年度比+1%)				
	アクセス性	・北側からのアクセス性が低い。 ・周辺道路の歩道未整備区間が多い。 ・送迎スペースが無く、周辺の道路上で送迎車両の停車が行われている。				
	その他	・道路～改札、改札～ホーム間の移動経路が階段のみ。				
整備方針	<ul style="list-style-type: none"> 構内外バリアフリー化(代替案として北側改札口の整備) ロータリーの設置 					

駅名	山陽電鉄本線 大塩駅					
総合計画での位置づけ	-					
備えるべき機能	駅舎の近代化	アクセス性向上	バスとの結節	送迎車との結節		
	○	○	○	-		
現状	駅舎	地上駅(無人)				
	ホーム間の移動	構内踏切(階段有り)				
	駅前広場	未整備				
	駐車・駐輪場	駐車場:約 20 台(民営・有料) 駐輪場:約 550 台(公設・無料)				
	バス・タクシー	バスバース:なし タクシーバース:なし				
	周辺主要施設	大塩サービスセンター、井野病院、JA兵庫西				
現状と課題分析	日平均乗車人員	2019 年度:2,666 人／日 (2009 年度比+1%)				
	アクセス性	<ul style="list-style-type: none"> 近接の踏切は交通量が多く、十分な幅員が確保できていないことから、自動車や歩行者・二輪が輻輳している。 上り方面の特急列車長に対してホーム長が不足しており、最後尾の車両のドアが開かない。最後尾車両から降車する際は、隣の車両に移動する必要がある。 姫路大学のスクールバスが発着しているが、十分な空間がない。 				
	その他	-				
	<p>特急列車に対してホーム長が不足</p> <p>自動車や歩行者・二輪が輻輳</p> <p>近大姫路大学の スクールバス等との 結節機能が未整備</p> <p>凡例 ■ 鉄道駅 ■ 駐車場 ■ 駐輪場</p> <p>0 50 100 m</p>					
整備方針	<ul style="list-style-type: none"> 駅舎の橋上化 駅前広場の整備 					

駅名	山陽電鉄網干線 西飾磨駅					
総合計画での位置づけ	-					
備えるべき機能	駅舎の近代化	アクセス性向上	バスとの結節	送迎車との結節		
	○	-	-	整備済		
現状	駅舎	高架駅(無人)				
	ホーム間の移動	階段				
	駅前広場	整備済(北側)				
	駐車・駐輪場	駐車場:約7台(民営) 駐輪場:約450台(公設・無料)				
	バス・タクシー	バスバース:なし タクシーバース:なし				
	周辺主要施設	姫路市立環境ふれあいセンター、兵庫信用金庫				
現状と課題分析	日平均乗車人員	2019年度:1,321人/日 (2009年度比+34%)				
	アクセス性	・(県)姫路環状線から駅への道路は、歩道が設置され歩行者は安全に通行できる。				
	その他	・改札～ホーム間の移動経路が階段のみ				
	<p>改札口からホーム間の移動経路は階段のみ</p>					
整備方針	・構内バリアフリー化					

駅名	山陽電鉄本線 夢前川駅						
総合計画での位置づけ	-						
備えるべき機能	駅舎の近代化	アクセス性向上	バスとの結節	送迎車との結節			
	○	-	-	○			
現状	駅舎	盛土駅(無人)					
	ホーム間の移動	階段					
	駅前広場	未整備(北側にはロータリー機能あり)					
	駐車・駐輪場	駐車場:約 87 台(民営) 駐輪場:約 220 台(公設・無料)					
	バス・タクシー	バスバース:なし タクシーバース:あり					
	周辺主要施設	製鉄記念広畠病院					
現状と課題分析	日平均乗車人員	2019 年度:1,072 人／日 (2009 年度比+11%)					
	アクセス性	・駅の改札口は北側のみであり、医療施設や商業施設が集積する駅南側からの乗車には迂回が発生する。					
	その他	・駅南側は「医療・介護ゾーン」と位置づけられており、令和 4 年上旬に閉院する製鉄記念広畠病院の跡地は、ツカザキ病院や特別養護老人ホーム、高齢者用住宅等に活用される計画。 ・改札～ホーム間の移動経路が階段のみ。					
							
整備方針	<ul style="list-style-type: none"> 構内バリアフリー化(南側改札口の整備検討を含む) ロータリーの強化 						

駅名		山陽電鉄本線 広畠駅			
総合計画での位置づけ		-			
備えるべき機能	駅舎の近代化		アクセス性向上	バスとの結節	送迎車との結節
	○	○	○	○	-
現状	駅舎	地上駅(無人)			
	ホーム間の移動	構内踏切			
	駅前広場	未整備			
	駐車・駐輪場	駐車場:約80台(民営) 駐輪場:約300台(公設・無料)、約130台(民営・有料)			
	バス・タクシー	バスバース:なし タクシーバース:なし			
	周辺主要施設	市立図書館(広畠分館)、三井住友銀行			
課題分析	日平均乗車人員	2019年度:1,071人/日 (2009年度比+33%)			
	アクセス性	改札口が南側であるため、北側からのアクセス性が低い。			
	その他	-			
					
整備方針		<ul style="list-style-type: none"> 北側アクセス強化 駅前広場の整備 			

駅名	山陽電鉄網干線 山陽天満駅						
総合計画での位置づけ	-						
備えるべき機能	駅舎の近代化	アクセス性向上	バスとの結節	送迎車との結節			
	○	-	-	○			
現状	駅舎	地上駅(有人)					
	ホーム間の移動	構内踏切					
	駅前広場	未整備					
	駐車・駐輪場	駐車場:約 62 台(民営) 駐輪場:約 400 台(民営・有料)					
	バス・タクシー	バスバース:なし タクシーバース:あり					
	周辺主要施設	県立姫路南高校、兵庫信用金庫、姫路天神郵便局					
現状 と課題分析	日平均乗車人員	2019 年度:1,243 人／日 (2009 年度比+19%)					
	アクセス性	・改札口が北側であるため、南側からのアクセス性が低い。					
	その他	・道路～改札、改札～ホーム間の移動経路が階段のみ。					
整備方針	<ul style="list-style-type: none"> 構内外バリアフリー化(代替案として南側改札口の整備) 南側アクセス強化 						

駅名	山陽電鉄網干線 平松駅					
総合計画での位置づけ	-					
備えるべき機能	駅舎の近代化	アクセス性向上	バスとの結節	送迎車との結節		
	○	○	-	○		
現状	駅舎	地上駅(無人)				
	ホーム間の移動	構内踏切				
	駅前広場	未整備				
	駐車・駐輪場	駐車場:約 50 台(民営) 駐輪場:約 150 台(公設・無料)				
	バス・タクシー	バスバース:なし タクシーバース:なし				
	周辺主要施設	吉美交番				
現状 と課題 分析	日平均乗車人員	2019 年度:716 人／日 (2009 年度比+6%)				
	アクセス性	・周辺道路の幅員が狭隘で歩道未整備区間が多い。 ・送迎スペースが無く、周辺の道路上で送迎車両の停車が行われている。				
	その他	-				
	<p>歩道の連続性が確保されていない</p> <p>自動車送迎スペースが少ない</p> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 鉄道駅 ■ 駐車場 ■ 駐輪場 <p>0 50 100 m</p>					
整備方針	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者安全対策整備 ロータリーの設置 					

代表的な公共交通空白・不便地域

安富地域

鹿谷地域

菅野地域

香寺地域

林田地域

船津・山田・豊富地域

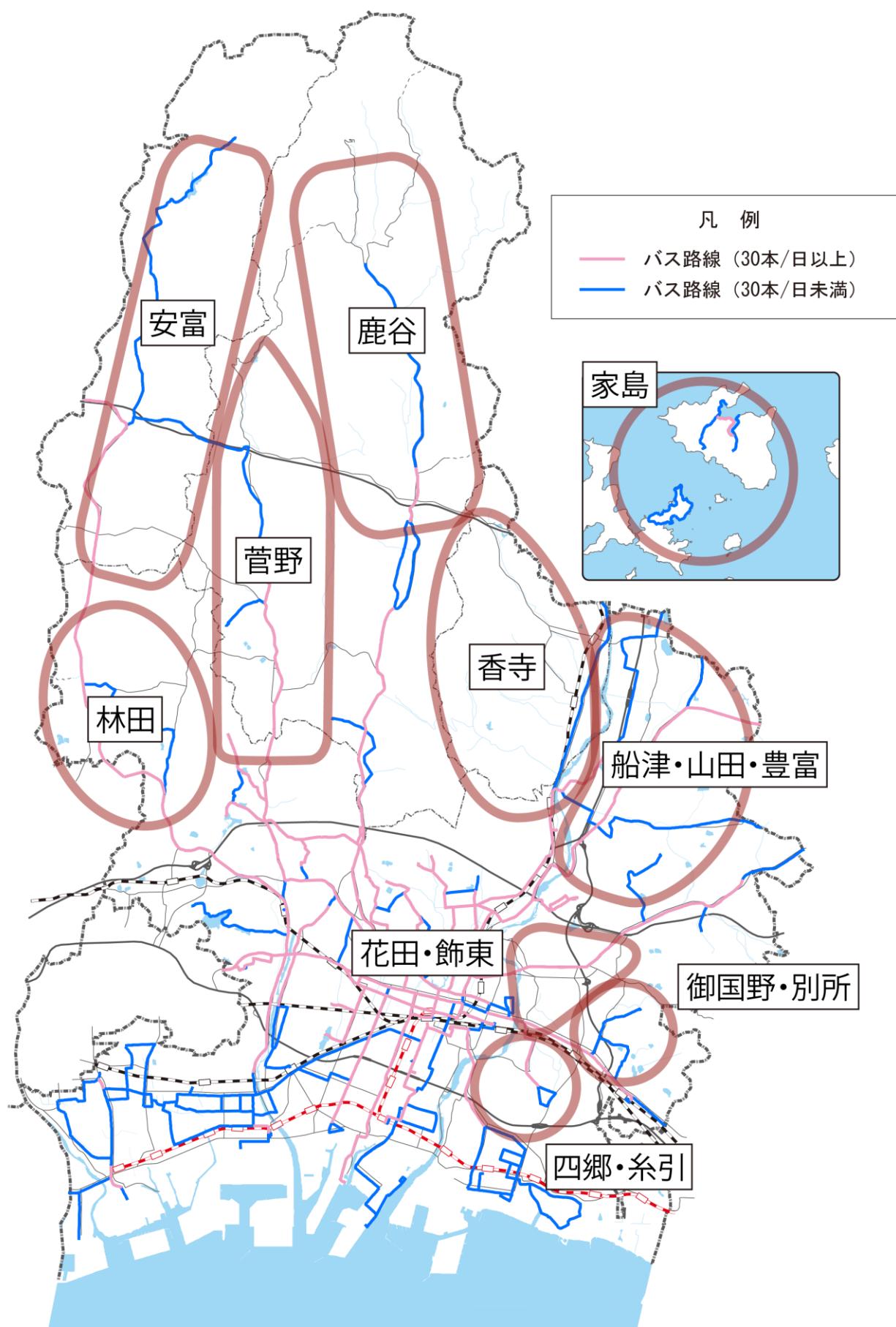
花田・飾東地域

四郷・糸引地域

御国野・別所地域

家島地域

■ 代表的な公共交通空白・不便地域

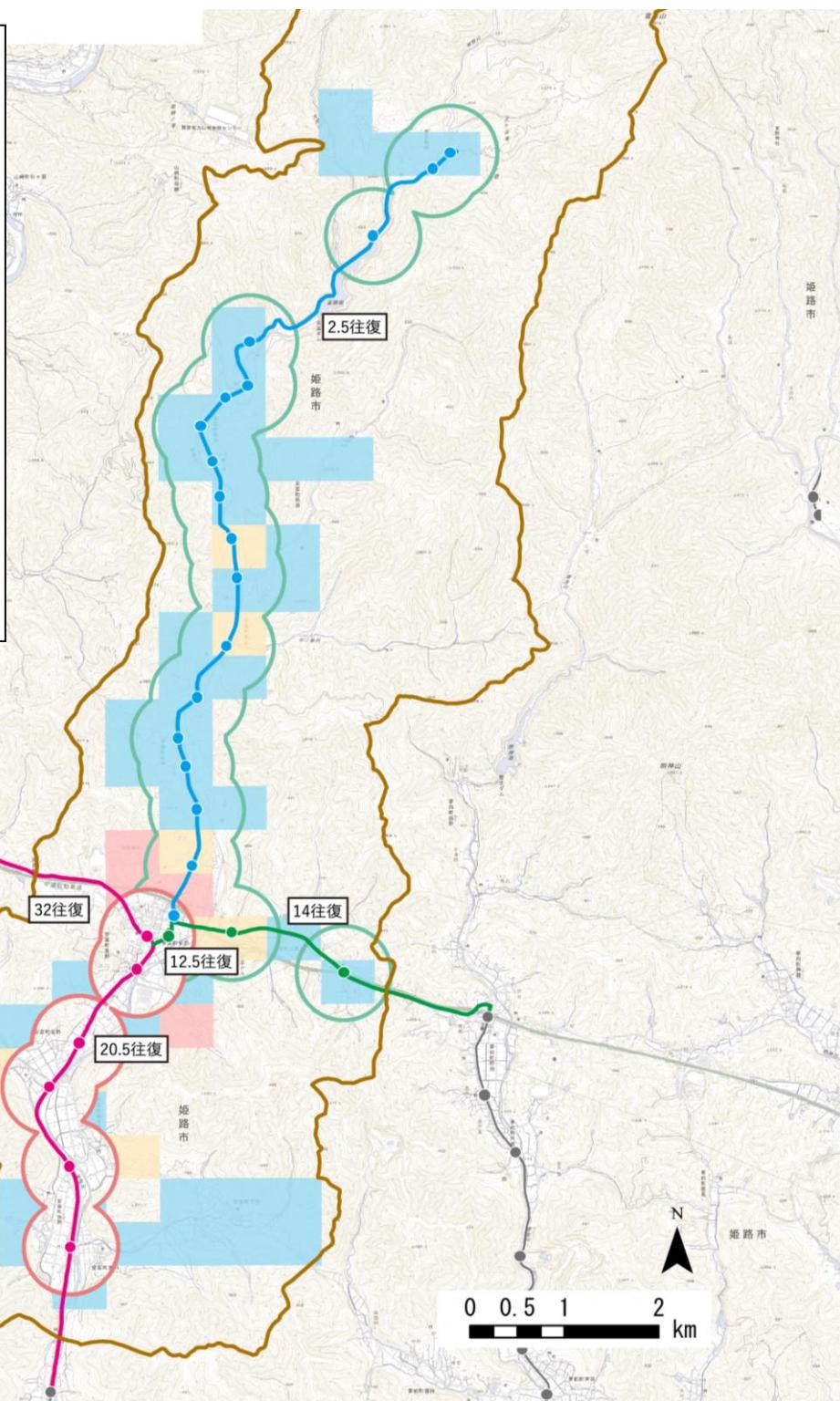


安富地域

人口	4,809人	総トリップ数	17,409T/日
世帯数	2,060世帯	公共交通トリップ数	558T/日
高齢化率	33%	公共交通分担率	3%

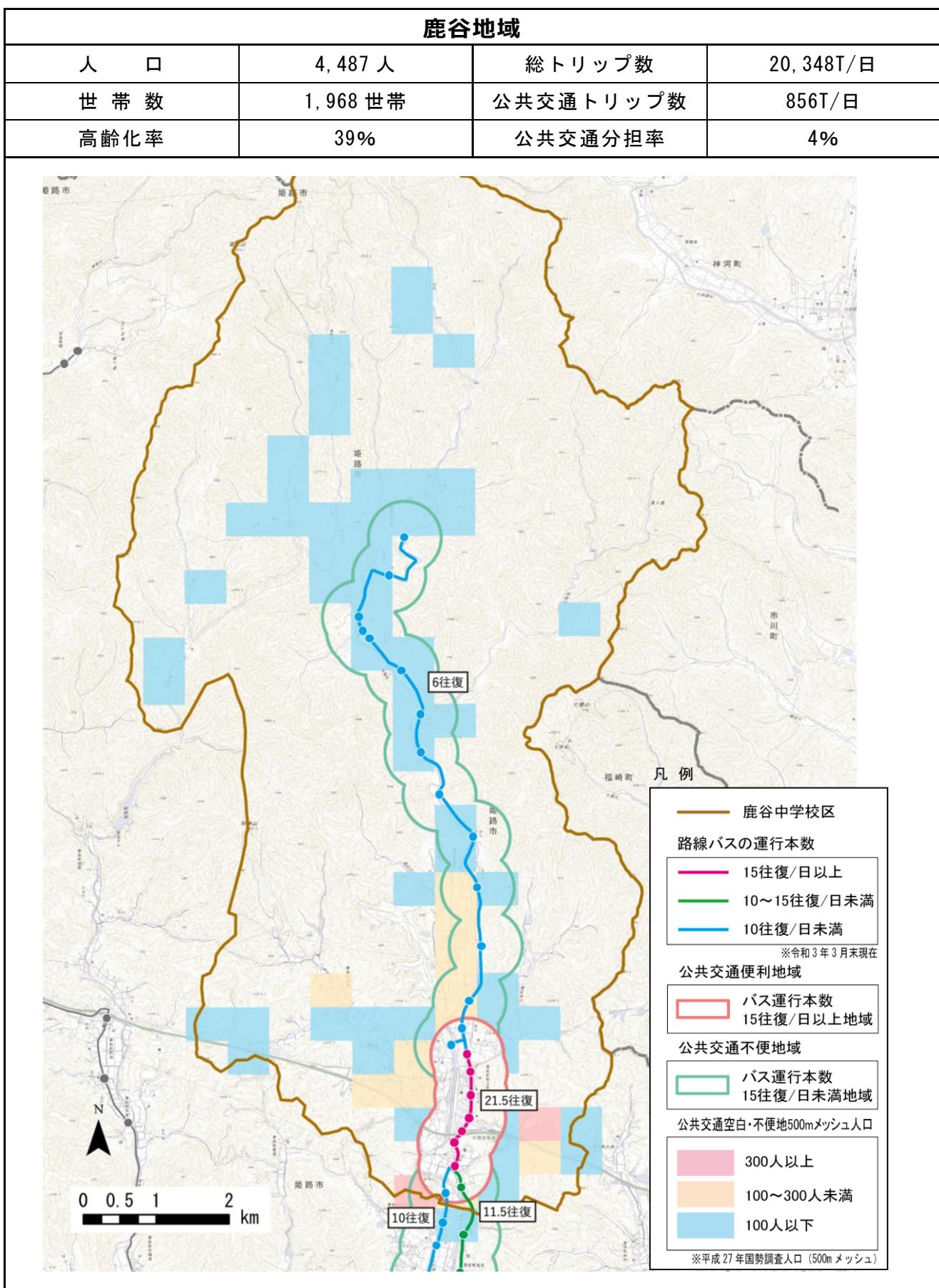
凡例

安富町
路線バスの運行本数
15往復/日以上
10~15往復/日未満
10往復/日未満
※令和3年3月末現在
公共交通便利地域
バス運行本数 15往復/日以上地域
公共交通不便地域
バス運行本数 15往復/日未満地域
公共交通空白・不便地500mメッシュ人口
300人以上
100~300人未満
100人以下
※平成27年国勢調査人口(500mメッシュ)



※人口、世帯数、高齢化率、トリップ数、分担率は、安富町を対象とした集計データを示しています。

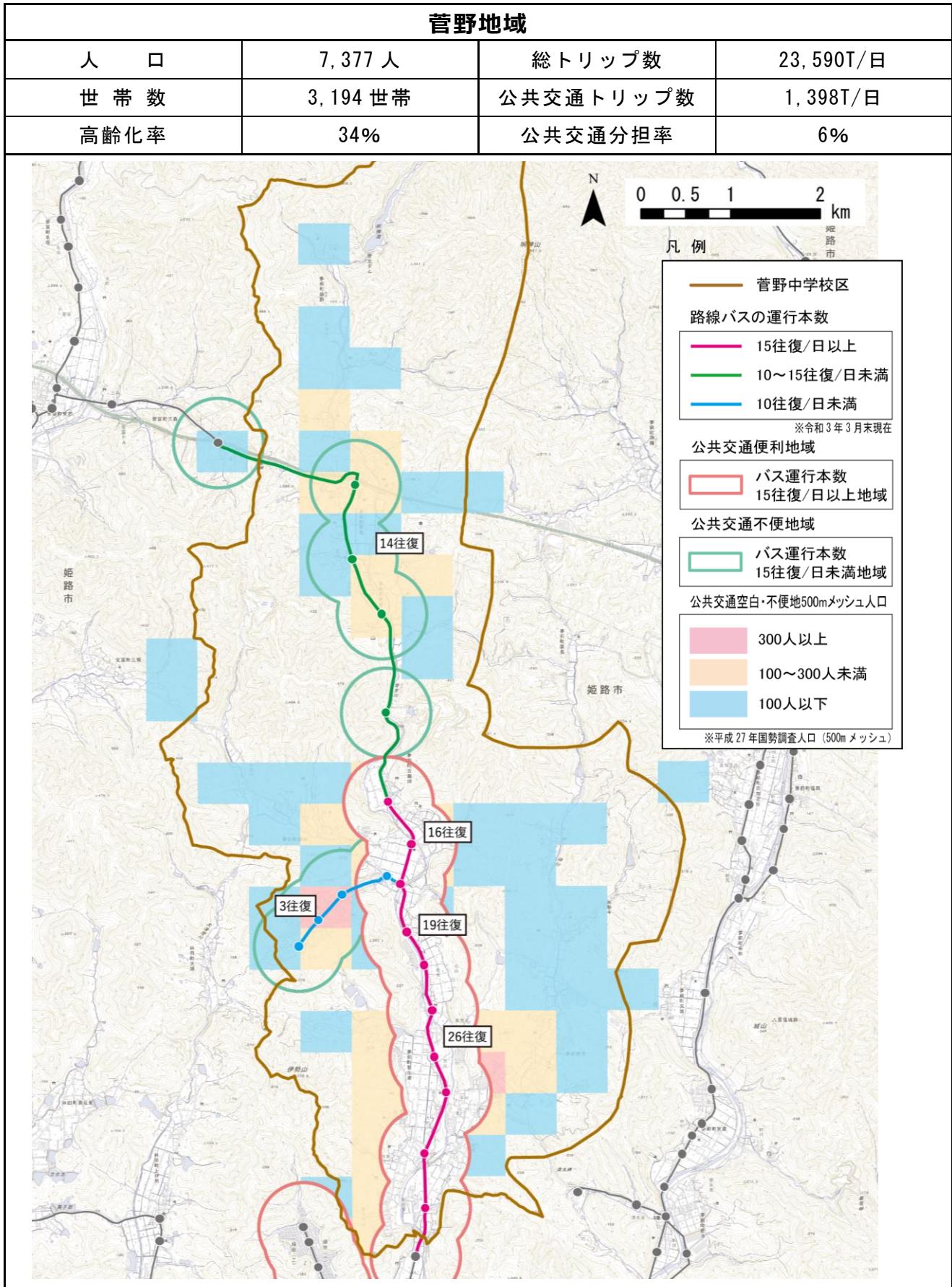
出典：住民基本台帳（2021年3月31日現在）、第5回近畿圏パーソントリップ調査（京阪神都市圏交通計画協議会 2010年）



※人口、世帯数、高齢化率、トリップ数、分担率は、鹿谷中学校区を対象とした集計データを示しています。

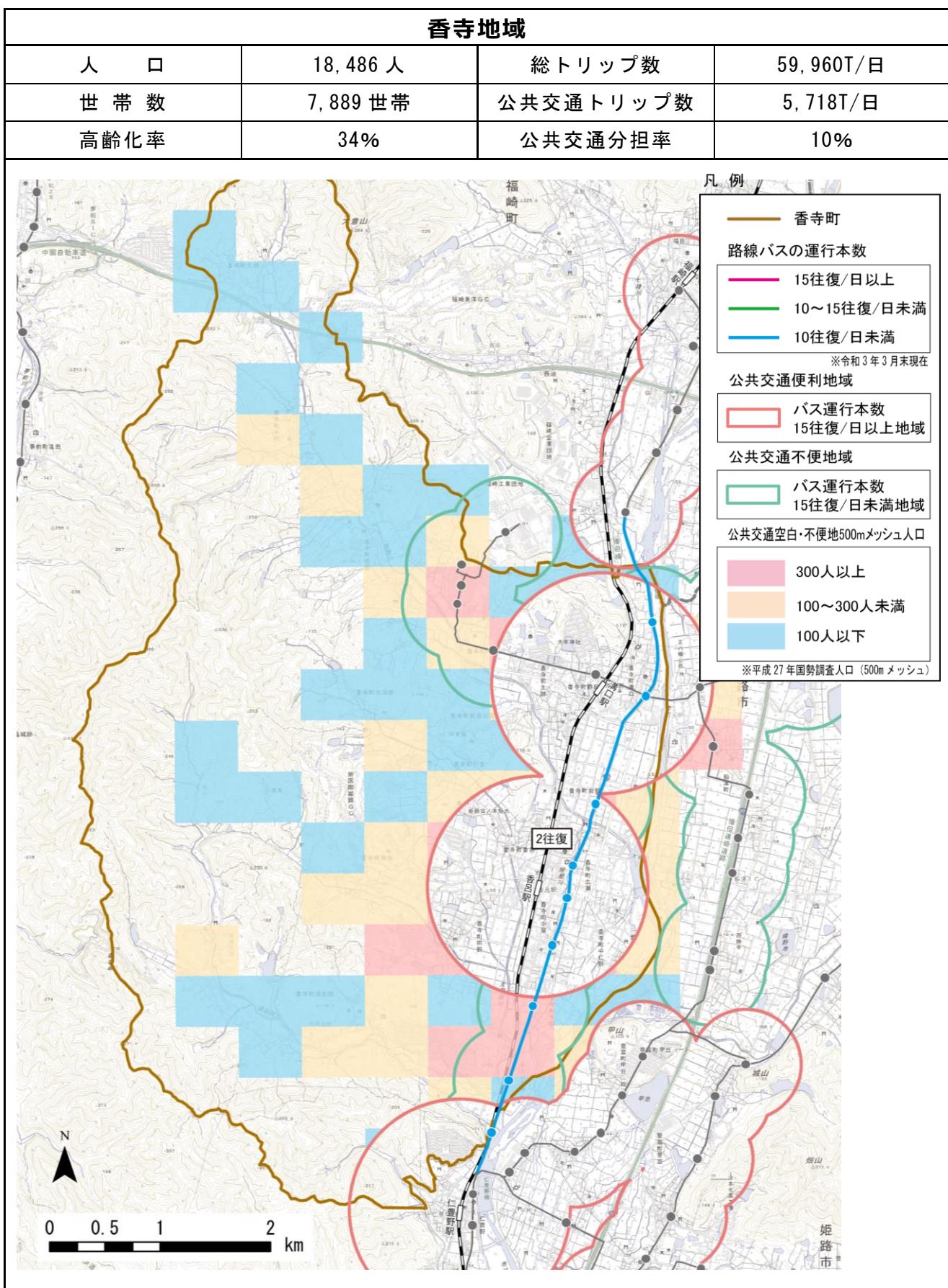
出典：住民基本台帳（2021年3月31日現在）、第5回近畿圏パーソントリップ調査（京阪神都市圏交通計画協議会 2010年）

菅野地域



※人口、世帯数、高齢化率、トリップ数、分担率は、菅野中学校区を対象とした集計データを示しています。

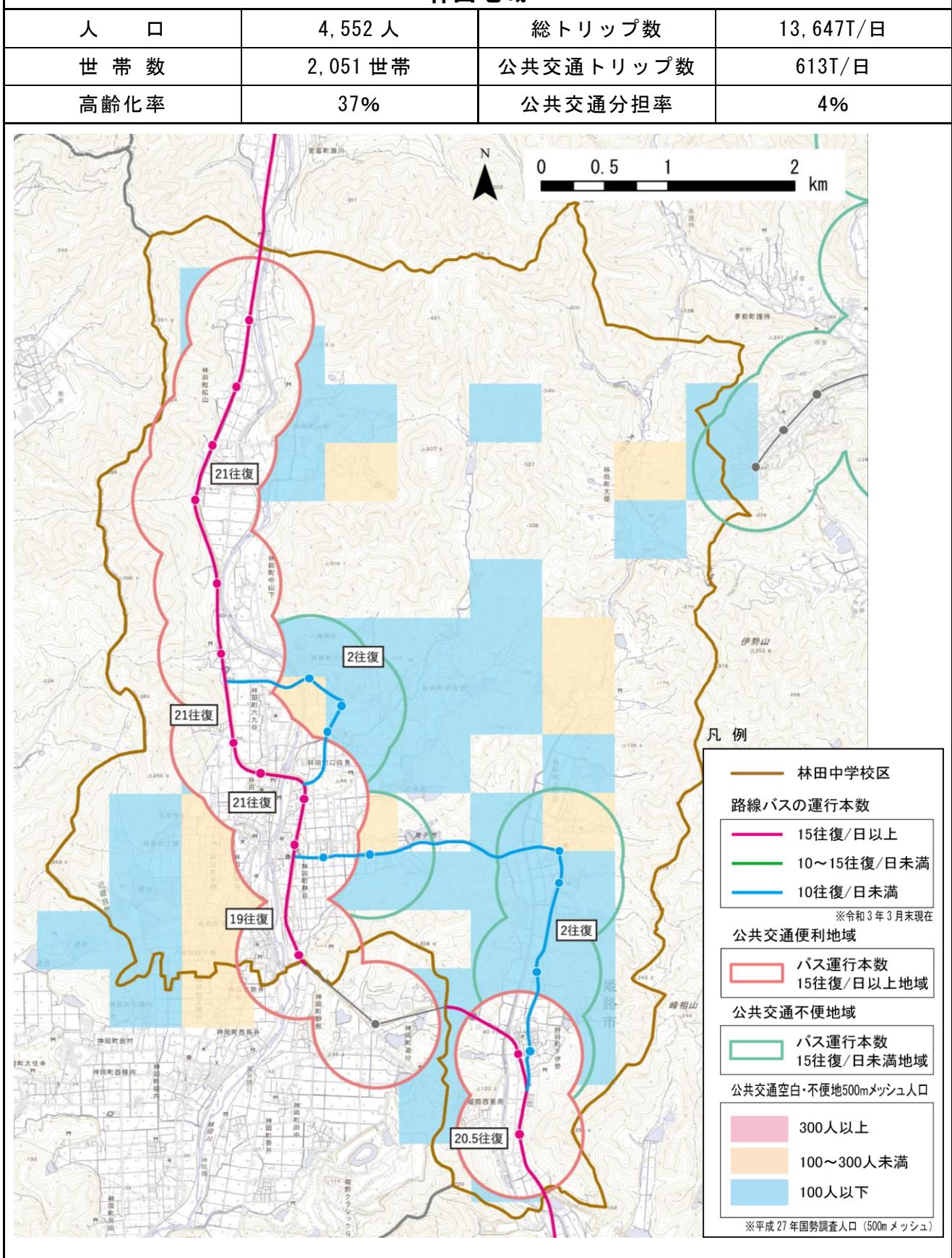
出典：住民基本台帳（2021年3月31日現在）、第5回近畿圏パーソントリップ調査（京阪神都市圏交通計画協議会 2010年）



※人口、世帯数、高齢化率、トリップ数、分担率は、香寺町を対象とした集計データを示しています。

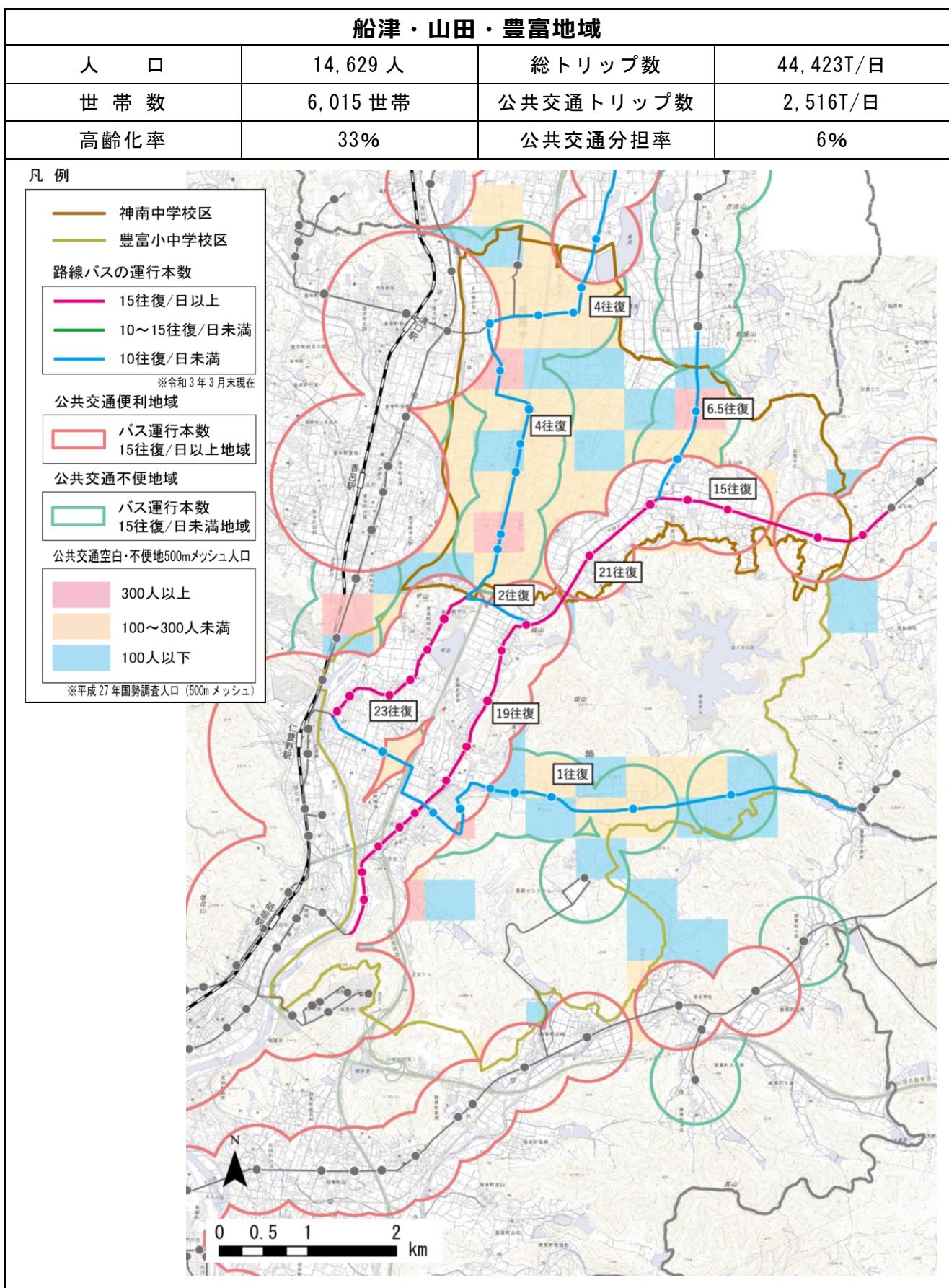
出典：住民基本台帳（2021年3月31日現在）、第5回近畿圏パーソントリップ調査（京阪神都市圏交通計画協議会 2010年）

林田地域



※人口、世帯数、高齢化率、トリップ数、分担率は、林田中学校区を対象とした集計データを示しています。

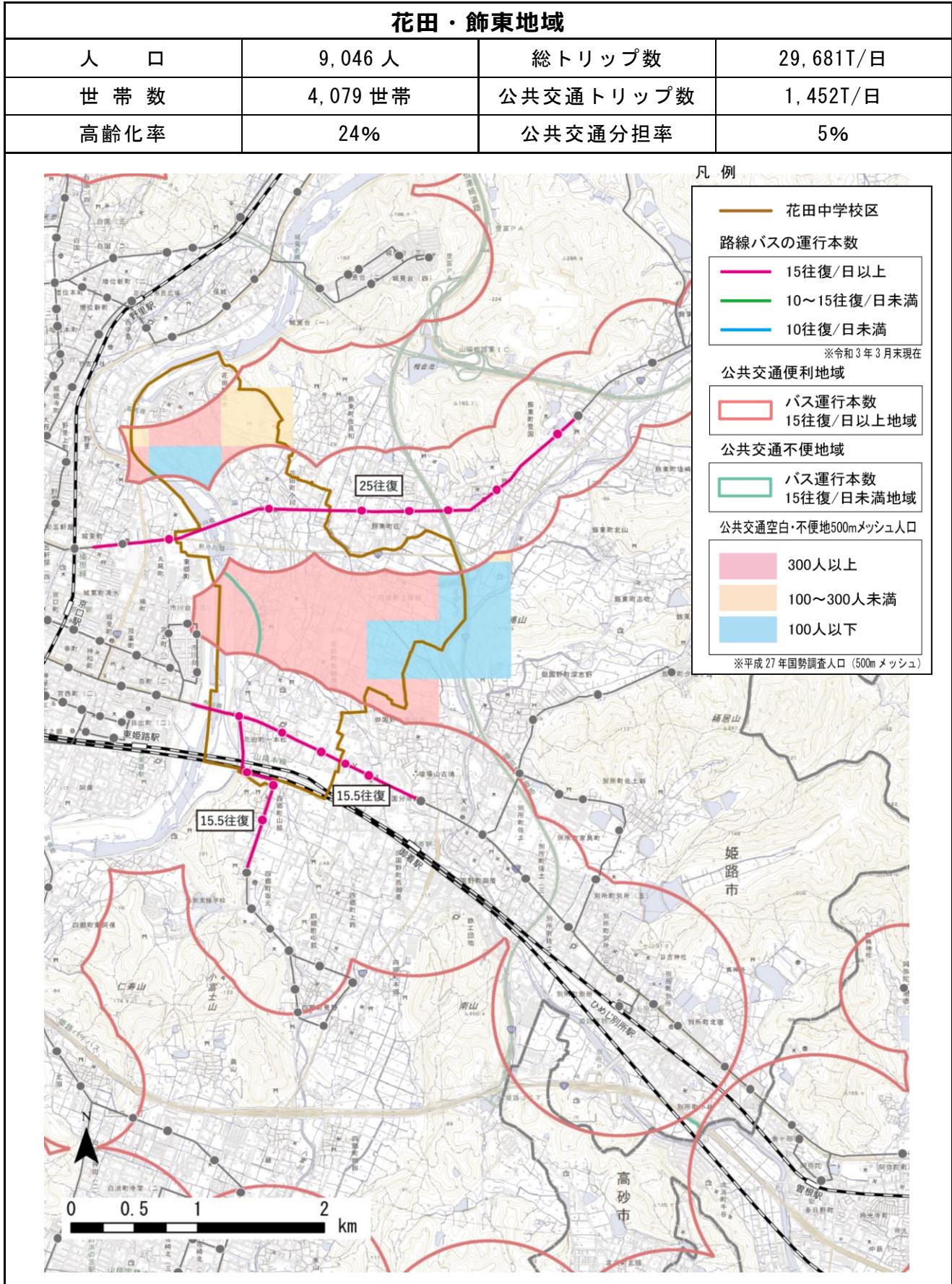
出典：住民基本台帳（2021年3月31日現在）、第5回近畿圏パーソントリップ調査（京阪神都市圏交通計画協議会 2010年）



※人口、世帯数、高齢化率、トリップ数、分担率は、神南中学校区・豊富小中学校区を対象とした集計データを示しています。

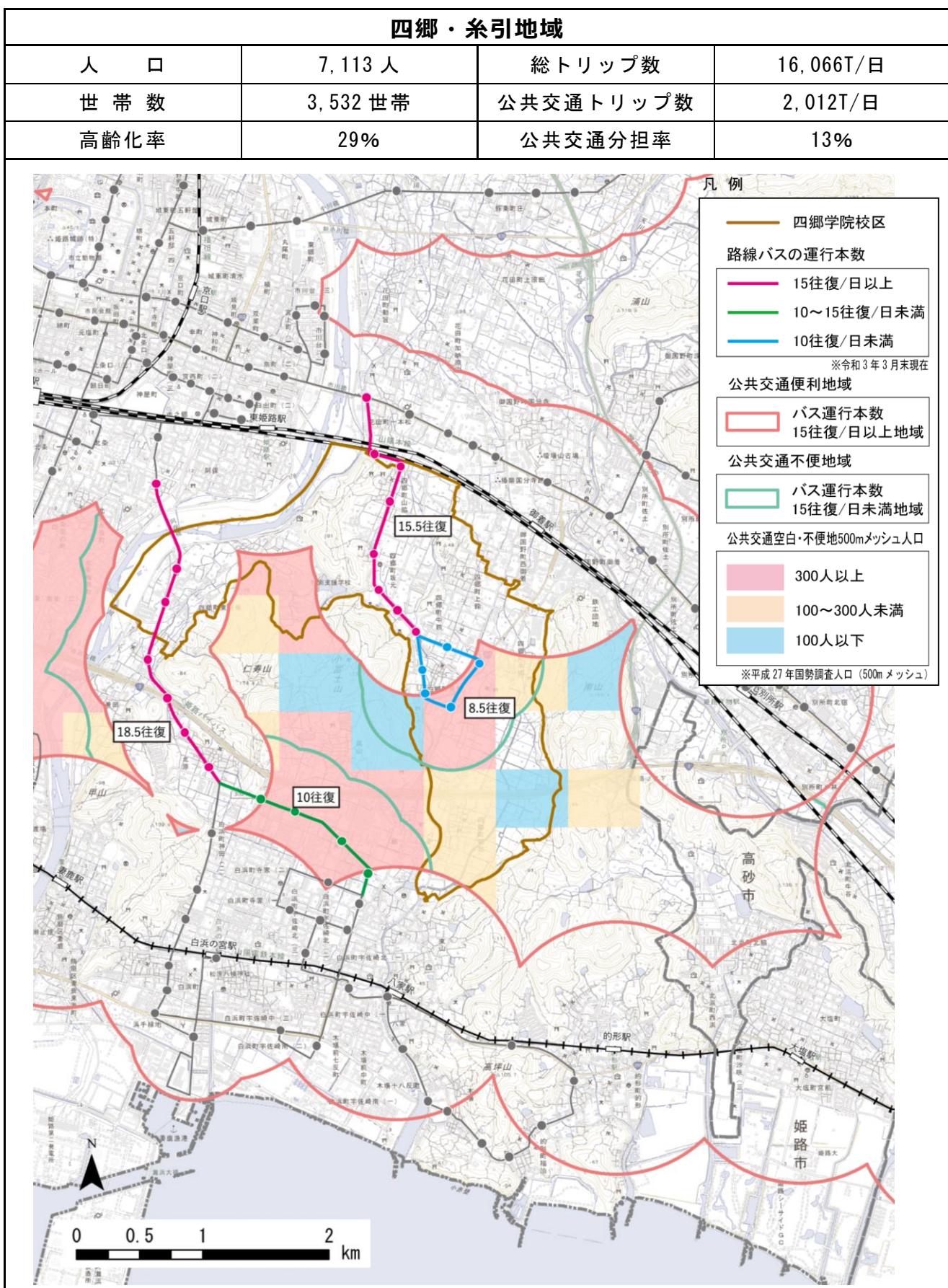
出典：住民基本台帳（2021年3月31日現在）、第5回近畿圏パーソントリップ調査（京阪神都市圏交通計画協議会 2010年）

花田・飾東地域



※人口、世帯数、高齢化率、トリップ数、分担率は、花田中学校区を対象とした集計データを示しています。

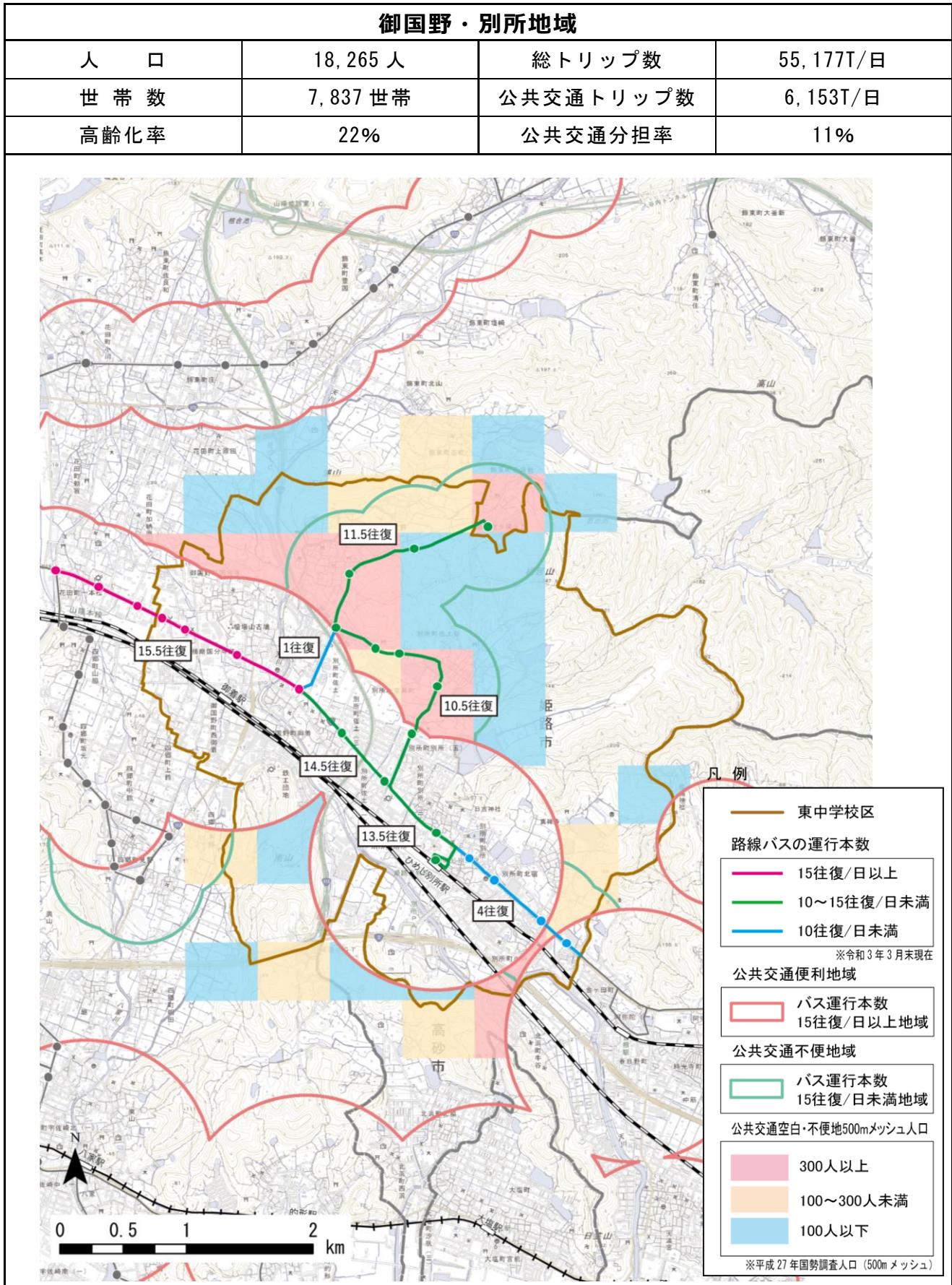
出典：住民基本台帳（2021年3月31日現在）、第5回近畿圏パーソントリップ調査（京阪神都市圏交通計画協議会 2010年）



※人口、世帯数、高齢化率、トリップ数、分担率は、四郷学院校区を対象とした集計データを示しています。

出典：住民基本台帳（2021年3月31日現在）、第5回近畿圏パーソントリップ調査（京阪神都市圏交通計画協議会 2010年）

御国野・別所地域

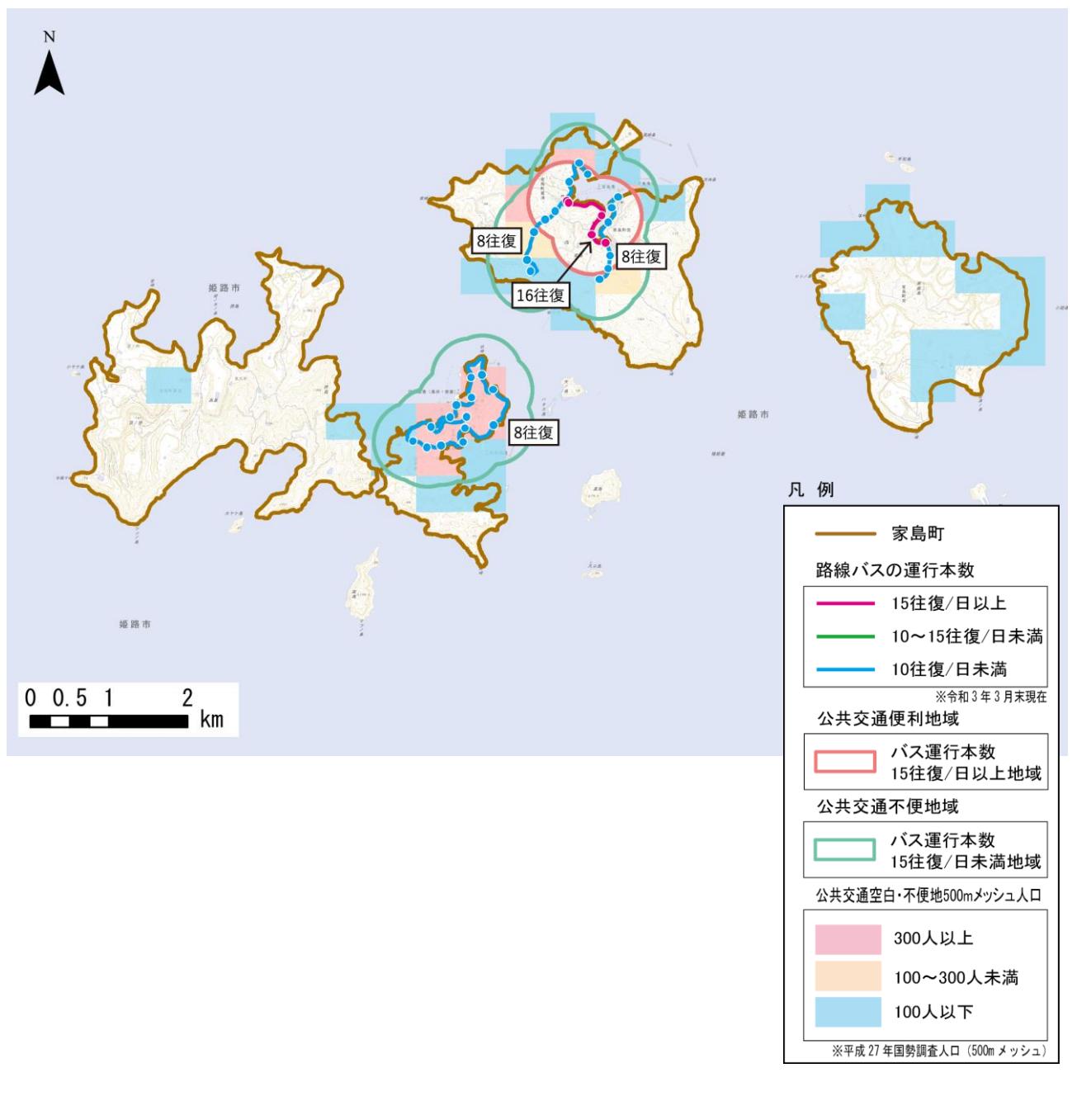


※人口、世帯数、高齢化率、トリップ数、分担率は、東中学校区を対象とした集計データを示しています。

出典：住民基本台帳（2021年3月31日現在）、第5回近畿圏パーソントリップ調査（京阪神都市圏交通計画協議会 2010年）

家島地域

人口	4,623人	総トリップ数	6,366T/日
世帯数	2,120世帯	公共交通トリップ数	55T/日
高齢化率	42%	公共交通分担率	1%



※人口、世帯数、高齢化率、トリップ数、分担率は、家島町を対象とした集計データを示しています。

出典：住民基本台帳（2021年3月31日現在）、第5回近畿圏パーソントリップ調査（京阪神都市圏交通計画協議会 2010年）

市民アンケート調査結果

市民アンケート調査概要

項目	内 容
調査対象	無作為に抽出した 16 歳以上の姫路市民（10,000 世帯、30,000 人）
調査期間	令和元年 11 月 2 日（土）～令和元年 11 月 22 日（金）
調査方法	調査対象者にアンケート調査票（次頁参照）、お願い文、返信用封筒を郵送配布し、回答済みのアンケート調査票を郵送回収（1 世帯あたり調査票 3 枚を配布）
調査項目	個人属性、日頃よく行く場所や施設(通勤通学先、買物先、通院先、趣味、娯楽施設先)と、交通手段や移動する時の問題点、お住まいの地域において困っている交通の問題等

普段の移動に関する市民アンケート調査 調査票

問6 姫路市内であなたの外出についてお答えください。
公共交通（鉄道、バス、タクシー、船舶など）が不便なため、行きたいけれど行けない場所はありますか。（いずれかに○）

1. はい 2. いいえ **問7**へ

問6で「1. はい」とお答えいただいた方にお聞きします

問6-1 その施設もしくは地域（場所）はどこですか。

問6-2 そこに行けない理由をお答えください。（該当するもの全てに○）

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 公共交通がない | 2. 鉄道・バス・船舶の運行本数が少ない |
| 3. 利用したい時間帯に公共交通が運行していない | |
| 4. 公共交通が時間通りに来ない・着かない | 5. 公共交通の運賃が高い |
| 6. 公共交通では時間がかかる | 7. 駅やバス停までが遠い |
| 8. 公共交通の車両等が乗りにくい | 9. 公共交通の利用方法が分からず・よく知らない |
| 10. その他（具体的に
） | |

問7 あなたがお住まいの地域において、困っている交通の問題は何ですか。

問8 10年後あなたにとって必要となる交通手段は何ですか。

問9 その他ご意見等ございましたらご記入ください。

【自由意見欄】



調査へのご協力ありがとうございました。

日ごろより、市政に格別のご協力をいただき厚くお礼申し上げます。
本市では、地域の交通のあり方をとりまとめた「姫路市総合交通計画」を改訂するため、市内にお住いの世帯から無作為に抽出した方を対象に、アンケート調査を実施させていただきます。

ご回答いただいた内容は、姫路市総合交通計画策定以外の目的に利用することはございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、アンケート調査にご協力くださいますようよろしくお願ひいたします。

令和元年10月 姫路市都市局交通計画室

アンケート記入にあたってのお願い

- このアンケートは、送付された「あて名のご本人」のほか、「65歳以上の方」、「高校生の方」、「その他16歳以上のご家族の方」もご回答をお願いいたします。
- ご回答は、直接この調査票に、質問にあてはまる番号に○をつけていただき、
 や（ ）には、具体的な内容をご記入ください。
- ご記入後は、お手数ですが**令和元年11月22日(金)まで**に同封の返送用封筒に入れ、**切手を貼らずに郵便ポスト**にご投函いただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

姫路市都市局交通計画室 電話：079-221-2493



問1 あなた自身のことについてお答えください。

性別	1. 男性	2. 女性			
年齢	1. 16~19歳	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代
	6. 60~64歳	7. 65~69歳	8. 70~74歳	9. 75~79歳	10. 80歳以上
自宅の住所	郵便番号	〒 <input type="text"/> - <input type="text"/>	※自宅の郵便番号を記入		
	または	姫路市 <input type="text"/>	※番地は不要です。		
	※郵便番号が分からない方は住所を記入してください。				
職業	1. 会社員、公務員など	2. 自営業	3. パート・アルバイト		
	4. 学生	5. 専業主婦・主夫	6. 無職	7. その他	
世帯構成	【同居する人すべてに○をつけて下さい】				
	1. 一人暮らし	2. 配偶者	3. 子ども	4. 孫	5. 親
	6. その他（ ）				
運転免許	1. 自動車免許を持っている	2. 自動二輪・原付バイクのみ			
	3. 運転免許証は返納した	4. 運転免許は持っていない			
クルマ等の運転	1. 問題なく運転できる	2. 運転に不安があるがクルマなしでは生活できない			
	3. 運転に不安があり免許返納したい	4. 運転できない			
クルマの保有	1. 自分が自由に利用できるクルマがある	2. 家族で利用できるクルマがある	3. 世帯にクルマはない		
無理なく歩ける距離 (ゆっくり歩いて10分で約500mです)	1. 1km以上	2. 1kmまで	3. 500mまで		
	4. 300mまで	5. ほとんど歩けない・歩けない			
外出について	1. ひとりで外出できる	2. ひとりで外出できない			

裏面の**問2**へ

(裏面)

問2 通勤・通学先 について お答えください		問3 日頃よく行く 買物先 について お答えください		問4 日頃よく行く 通院先 について お答えください		問5 趣味・娯楽施設 について お答えください			
<p>ここから お答えください</p> <p>回答順序</p> <p>① よく行く場所や施設名 (いずれかに○をつけて、 □に地域名 又は施設名を記入して ください)</p>		<p>1. ほとんど行かない → 右の問3へ</p> <p>職場・学校の名前 【回答例】 地域名又は施設名 安田</p> <p>2. 市内の職場 ・学校</p> <p>3. 市外の職場 ・学校 【回答】 地域名又は施設名</p>		<p>1. ほとんど行かない → 右の問4へ</p> <p>店名 【回答例】 地域名又は施設名 マックスバリュ西今宿店</p> <p>2. 市内のお店</p> <p>3. 市外のお店 【回答】 地域名又は施設名</p>		<p>1. ほとんど行かない → 右の問5へ</p> <p>病院・診療所名 【回答例】 地域名又は施設名 〇〇内科</p> <p>2. 市内の病院 ・診療所など</p> <p>3. 市外の病院 ・診療所など 【回答】 地域名又は施設名</p>		<p>1. ほとんど行かない → 裏面の 問6へ</p> <p>施設名 【回答例】 地域名又は施設名 イオンシネマ加古川</p> <p>2. 市内の施設</p> <p>3. 市外の施設 【回答】 地域名又は施設名</p>	
<p>② そこまでの交通手段 <u>利用するもの</u> 全てに○をつけて ください)</p>		<p>1. クルマ(自分で運転) 2. クルマ(送迎してもらう) 3. バイク 4. 自転車 5. 徒歩 6. タクシー 7. 船舶 8. 送迎車 9. 路線バス(神姫バス) 10. コミュニティバス 11. 鉄道 (□駅から□駅まで) 12. その他()</p>		<p>1. クルマ(自分で運転) 2. クルマ(送迎してもらう) 3. バイク 4. 自転車 5. 徒歩 6. タクシー 7. 船舶 8. 送迎車 9. 路線バス(神姫バス) 10. コミュニティバス 11. 鉄道 (□駅から□駅まで) 12. その他()</p>		<p>1. クルマ(自分で運転) 2. クルマ(送迎してもらう) 3. バイク 4. 自転車 5. 徒歩 6. タクシー 7. 船舶 8. 送迎車 9. 路線バス(神姫バス) 10. コミュニティバス 11. 鉄道 (□駅から□駅まで) 12. その他()</p>		<p>1. クルマ(自分で運転) 2. クルマ(送迎してもらう) 3. バイク 4. 自転車 5. 徒歩 6. タクシー 7. 船舶 8. 送迎車 9. 路線バス(神姫バス) 10. コミュニティバス 11. 鉄道 (□駅から□駅まで) 12. その他()</p>	
<p>③ 外出の回数 (□に回数を記入して下さい)</p>		<p>週に□回又は月に□回</p>		<p>週に□回又は月に□回</p>		<p>週に□回又は月に□回</p>		<p>週に□回又は月に□回</p>	
<p>④ 外出する時間帯 (午前午後に○をつけて □に時刻を 記入して下さい)</p>		<p>【行き】午前・午後□時頃 【帰り】午前・午後□時頃</p>		<p>【行き】午前・午後□時頃 【帰り】午前・午後□時頃</p>		<p>【行き】午前・午後□時頃 【帰り】午前・午後□時頃</p>		<p>【行き】午前・午後□時頃 【帰り】午前・午後□時頃</p>	
<p>⑤ 移動する時の問題点 <u>該当するもの</u> 全てに○をつけて ください)</p>		<p>1. 特に問題はない 2. 送迎してもらうのが何かと大変 (自分の時間で動けない、気を遣うなど) 3. 目的地に行くバスや鉄道がない 4. バスや鉄道はあるが利用しにくい 5. 移動にお金がかかる 6. 移動に時間がかかる 7. その他</p>		<p>1. 特に問題はない 2. 送迎してもらうのが何かと大変 (自分の時間で動けない、気を遣うなど) 3. 目的地に行くバスや鉄道がない 4. バスや鉄道はあるが利用しにくい 5. 移動にお金がかかる 6. 移動に時間がかかる 7. その他</p>		<p>1. 特に問題はない 2. 送迎してもらうのが何かと大変 (自分の時間で動けない、気を遣うなど) 3. 目的地に行くバスや鉄道がない 4. バスや鉄道はあるが利用しにくい 5. 移動にお金がかかる 6. 移動に時間がかかる 7. その他</p>		<p>1. 特に問題はない 2. 送迎してもらうのが何かと大変 (自分の時間で動けない、気を遣うなど) 3. 目的地に行くバスや鉄道がない 4. バスや鉄道はあるが利用しにくい 5. 移動にお金がかかる 6. 移動に時間がかかる 7. その他</p>	
<p>⑥ 移動する時の問題点の 具体的な内容 (⑤で2~7を回答した 人は具体的な内容を ご記入ください)</p>		<p>具体的な内容</p>		<p>具体的な内容</p>		<p>具体的な内容</p>		<p>具体的な内容</p>	
		<p>右の問3へ</p>		<p>右の問4へ</p>		<p>右の問5へ</p>		<p>裏面の問6へ</p>	

アンケート調査結果

1. アンケート回収率

地域ブロック別の配布回収数は以下に示すとおりであり、配布世帯数 10,000 世帯（調査票）に対し、回収世帯数は 3,520 世帯で、世帯回収率は 35.2% となっている。また、調査票は 1 世帯あたり 3 枚を配布しているため、回収枚数は 7,022 枚となった。

< 地域ブロック別配布回収数 >

旧市町	地域 ブロック	配布世帯数 (世帯)	回収世帯数 (世帯)	世帯 回収率	回収枚数 (枚)
姫路市	北 部	1,045	333	31.9%	680
	中 部第一	930	347	37.3%	678
	中 部第二	1,582	580	36.7%	1,146
	東 部	756	255	33.7%	529
	灘	756	252	33.3%	504
	飾 磨	1,155	398	34.5%	789
	広 畑	965	330	34.2%	664
	網 干	944	366	38.8%	758
	西 部	745	257	34.5%	491
家島町		224	55	24.6%	79
夢前町		336	126	37.5%	264
香寺町		340	130	38.2%	264
安富町		222	75	33.8%	158
住所不明		—	16	—	18
合 計		10,000	3,520	35.2%	7,022

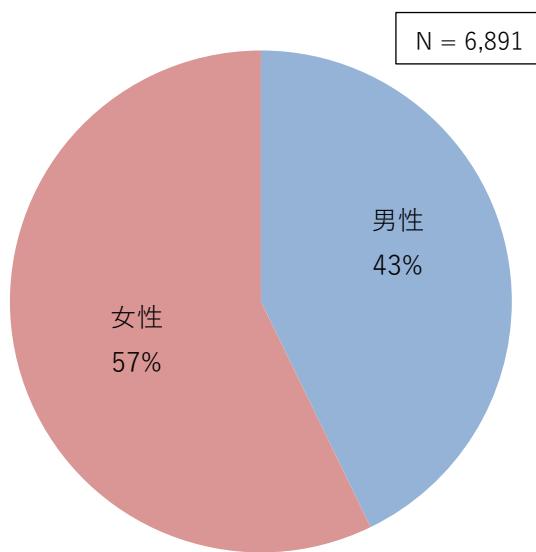
※ 1 世帯あたり 3 枚の調査票を配布

2. 回答者の個人属性

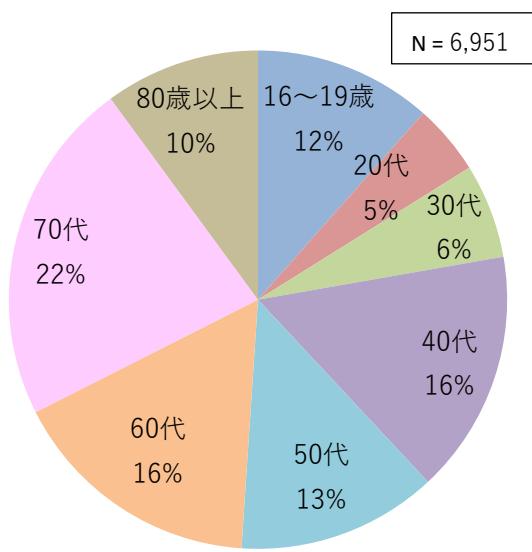
(1) 性別・年齢・職業

- ・性別は、男性が約4割、女性が約6割となっている。
- ・年齢は、70代が約2割と多くなっているが、各年齢層から回答が得られた。
- ・職業は、「無職」が約3割と多く、次いで「会社員、公務員など」が3割弱となっている。

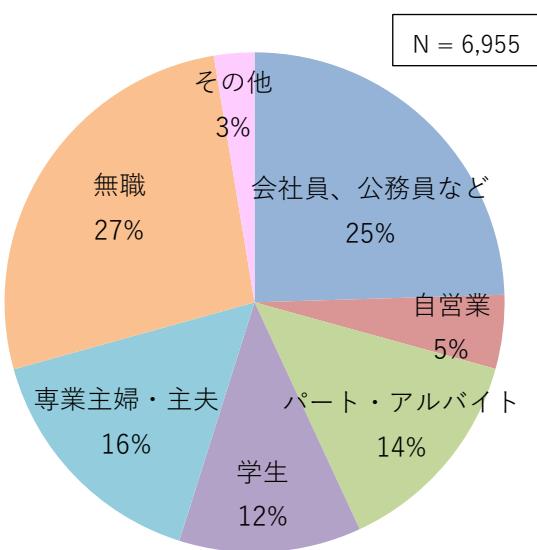
<性 別>



<年齢別>

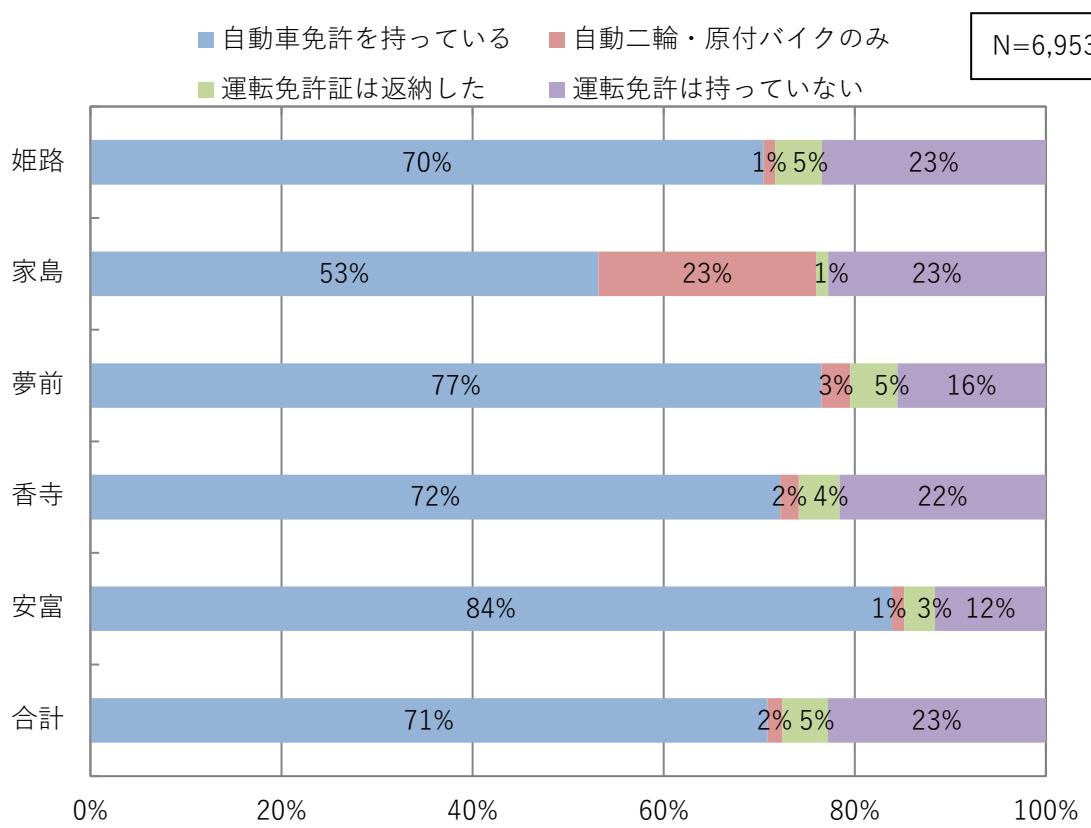


<職業別>



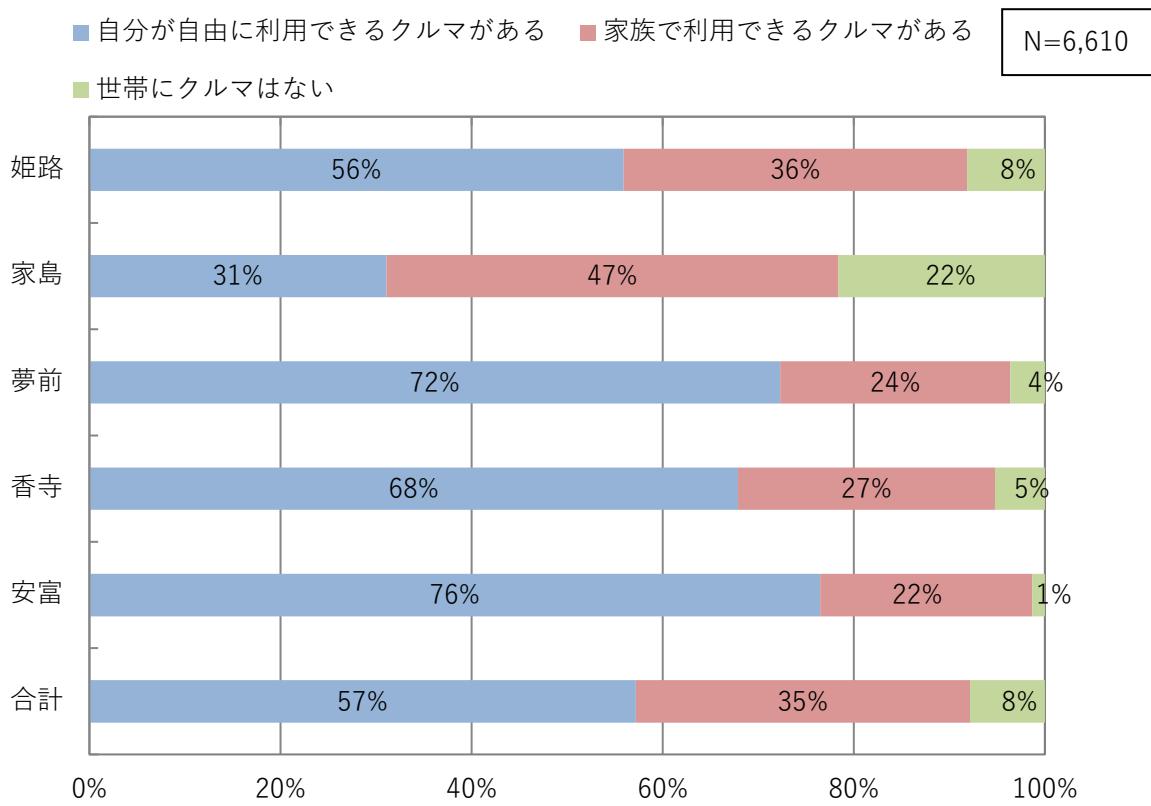
(2) 運転免許の保有状況

- ・運転免許は、全体では「運転免許を持っている」が約7割と最も多い。
- ・約3割が、「運転免許は返納した」または「運転免許は持っていない」と回答している。
- ・家島では「自動二輪・原付バイクのみ」の割合が約2割と他の地域に比べて高くなっている。



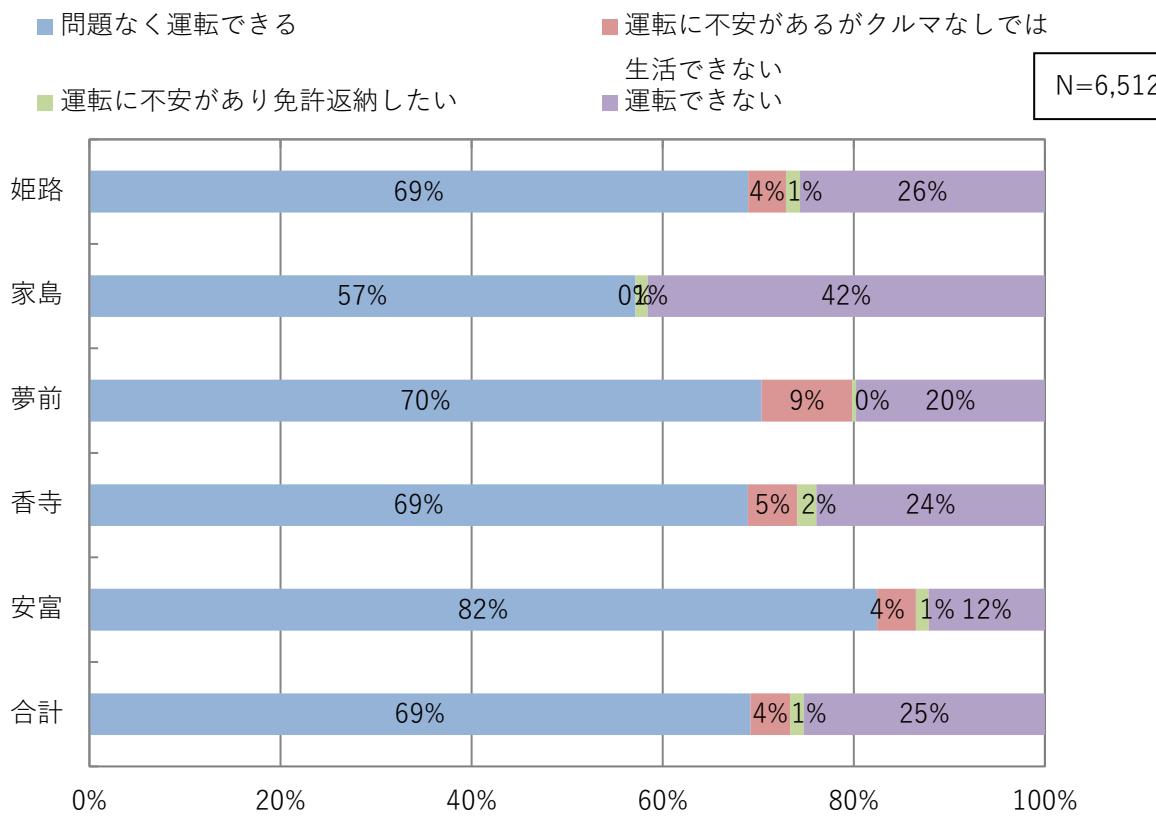
(3) クルマの保有状況

- ・ クルマの保有は、全体では「自分が自由に利用できるクルマがある」が約 6 割となっている
- ・ 夢前、香寺、安富では「自分が自由に利用できるクルマがある」が約 7 割と他の地域に比べると高く、家島では約 3 割と低くなっている。



(4) クルマの運転状況

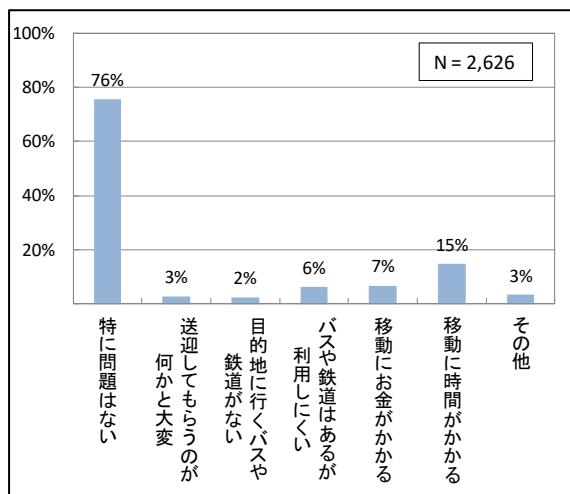
- ・ クルマの運転は、全体では「問題なく運転できる」が約7割、「運転に不安がある」又は「運転できない」は約3割となっている。
- ・ 家島は、「運転できない」が約4割と他の地域に比べて高くなっている。



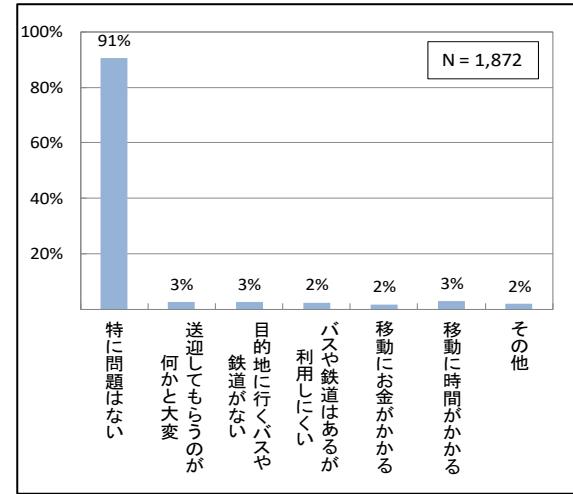
3. 移動するときに感じている問題【複数回答】

- ・通勤・通学では「移動に時間がかかる」、通院では「送迎してもらうのが何かと大変」が1割以上と多くなっています。
- ・買物、趣味・娯楽では、各問題で2%~4%と大きな問題点はありませんでした。

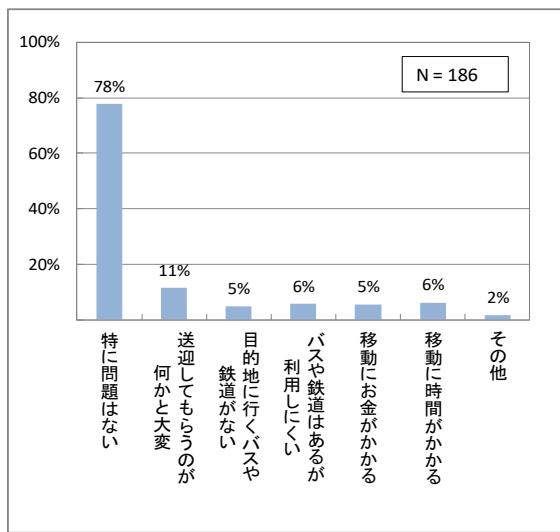
【通勤・通学】



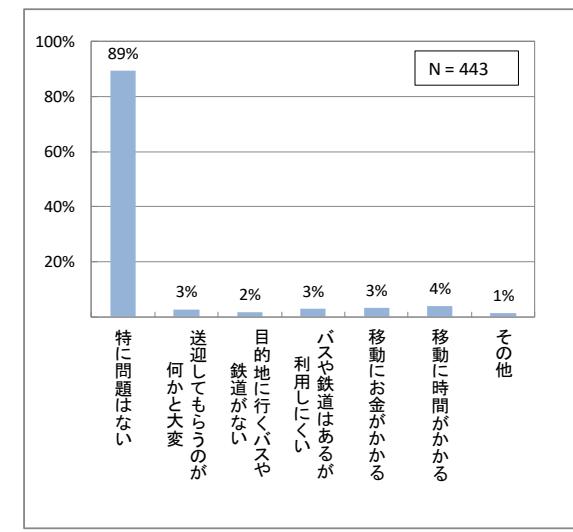
【買 物】



【通院】

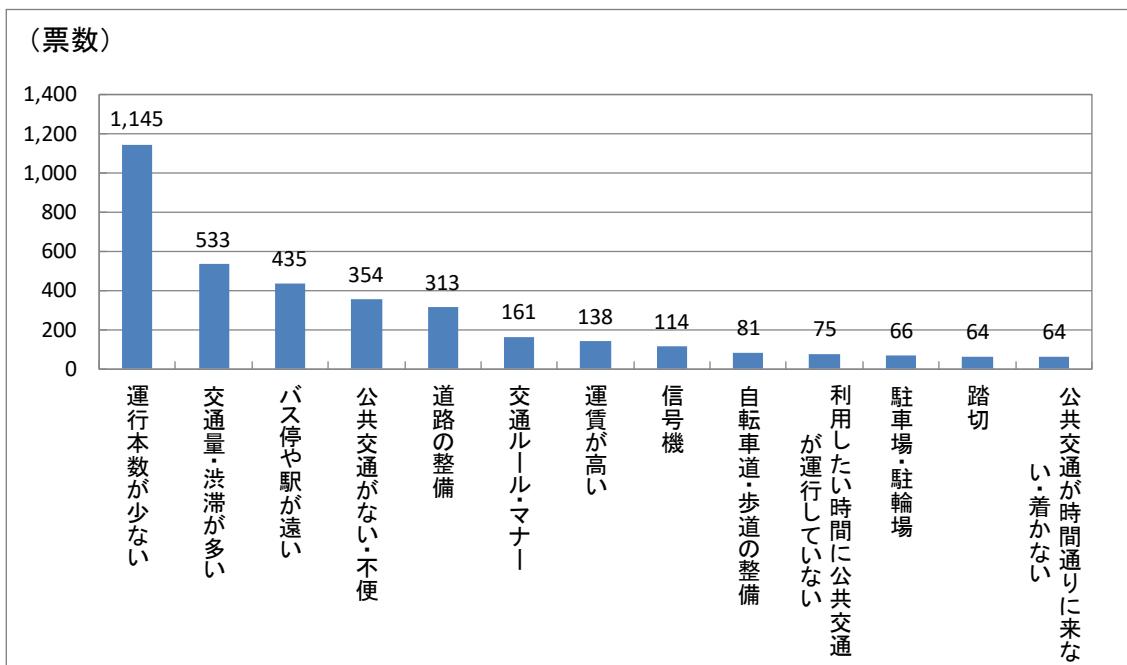


【趣味・娯楽】



4. お住まいの地域で困っている交通の問題【複数回答】

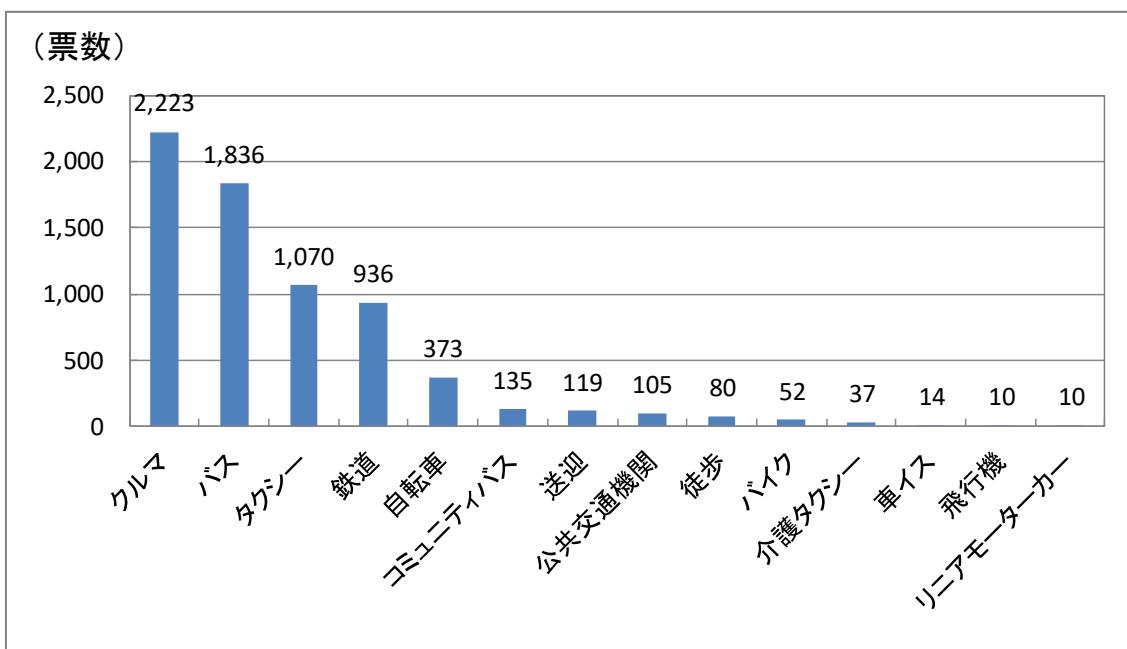
- 困っている交通の問題は、「運行本数」「交通量・渋滞」「バス停や駅が遠い」「公共交通がない・不便」「道路の整備」の順に多く、公共交通のサービスや道路・自動車交通の問題が多い。



※回答票数 50 票以上ののみ表示

5. 10 年後必要となる交通手段【複数回答】

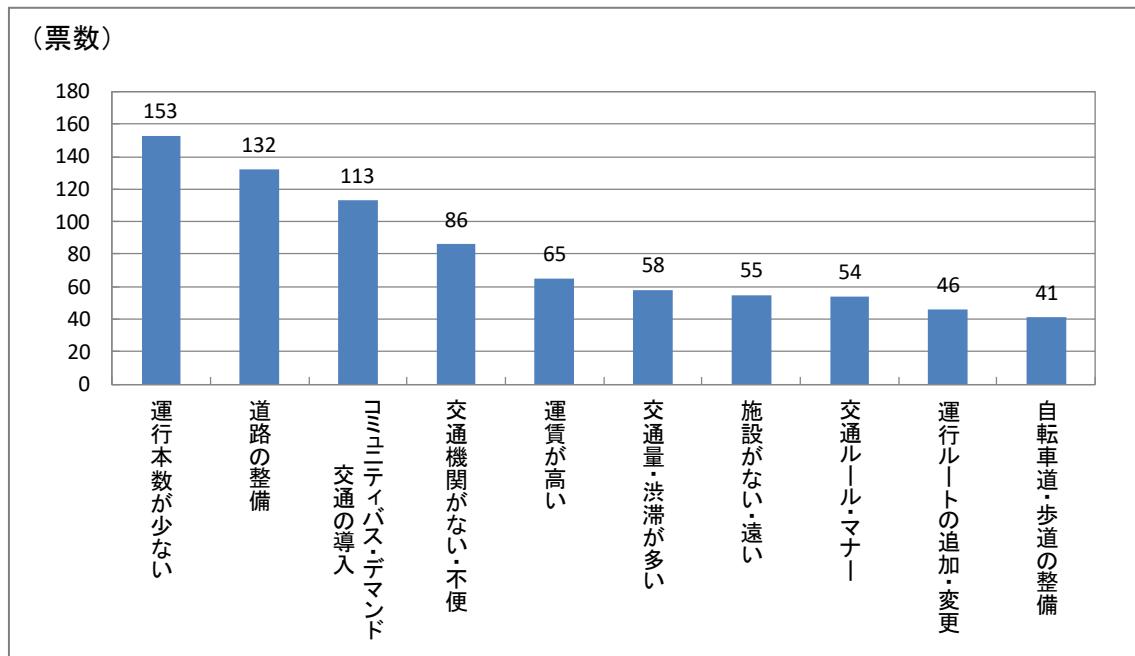
- 10 年後に必要となる交通手段は、「クルマ」が最も多く、将来的にもクルマ利用を想定している人がいる一方で「バス」「タクシー」「鉄道」などの公共利用の必要性も感じている人も多い。



※回答票数 10 票以上ののみ表示

6. 自由意見【複数回答】

- ・公共交通の「運行本数」や「道路整備」、「コミュニティバス・デマンド交通の導入」を望む声などが多くなっている。



※回答票数 40 票以上ののみ表示